第１部　教育施策
第１節　福岡県の教育施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第２節　教育行政の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

第２部　教育行財政
第１節　教育委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

第２節　条例・規則等の制定・改正及び通達等・・・・・・・・・・・・・・ 19

第３節　事務局等組織機構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
第４節　教育予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

第５節　広報・広聴、調査統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

第６節　教育文化表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
第７節　福岡県教育文化奨学財団・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
第８節　教育に関する公益法人及び公益信託・・・・・・・・・・・・・・・ 43

第９節　審議会等の議事概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

第３部　学校教育
第１章　教育の概要
第１節　現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
第２節　小学校、中学校及び幼稚園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
第３節　高等学校、中等教育学校及び特別支援学校・・・・・・・・・・・ 55
第４節　学校の設置及び廃止等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
第５節　高等学校進学者の受入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
第６節　県立高校教育改革の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
第２章　教育活動
第１節　教育指導の実際・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70

第２節　付随的教育活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93

第３章　教職員

第１節　教職員の人事管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94

第２節　教職員の健康管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・110

第３節　教職員の給与・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・111

第４節　教職員の福利厚生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・113

第４章　学校施設・設備

第１節　小・中学校の施設整備状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119

第２節　県立学校の施設・設備整備状況・・・・・・・・・・・・・・・・・121

第３節　産業教育施設整備及びその他の設備の整備状況・・・・・・・・・122

第５章　教育研究

第１節　教職員の研究活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・124

第　節　県教育センターの事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・125

第４部　生涯学習

第１章　生涯学習の振興と社会教育行政

第１節　現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・136

第２節　生涯学習推進体制の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・137

第３節　生涯学習の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・138

第４節　社会教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・140

第５節　社会教育主事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・142

第２章　社会教育の活動

第１節　社会教育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・143

第２節　社会教育施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・153

第５部　文化

第１節　現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・180

第２節　子どもの文化普及事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・182

第３節　県立美術館の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・187

第４節　文化財保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・191

第６部　体育・スポーツ及び健康教育

第１節　現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・206

第２節　学校体育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・208

第３節　スポーツの振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・210

第４節　健康教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・233

第５節　児童生徒の健康管理及び環境衛生・・・・・・・・・・・・・・・・245

第６節　県体育研究所の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・247

第７節　付随的健康教育活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・252

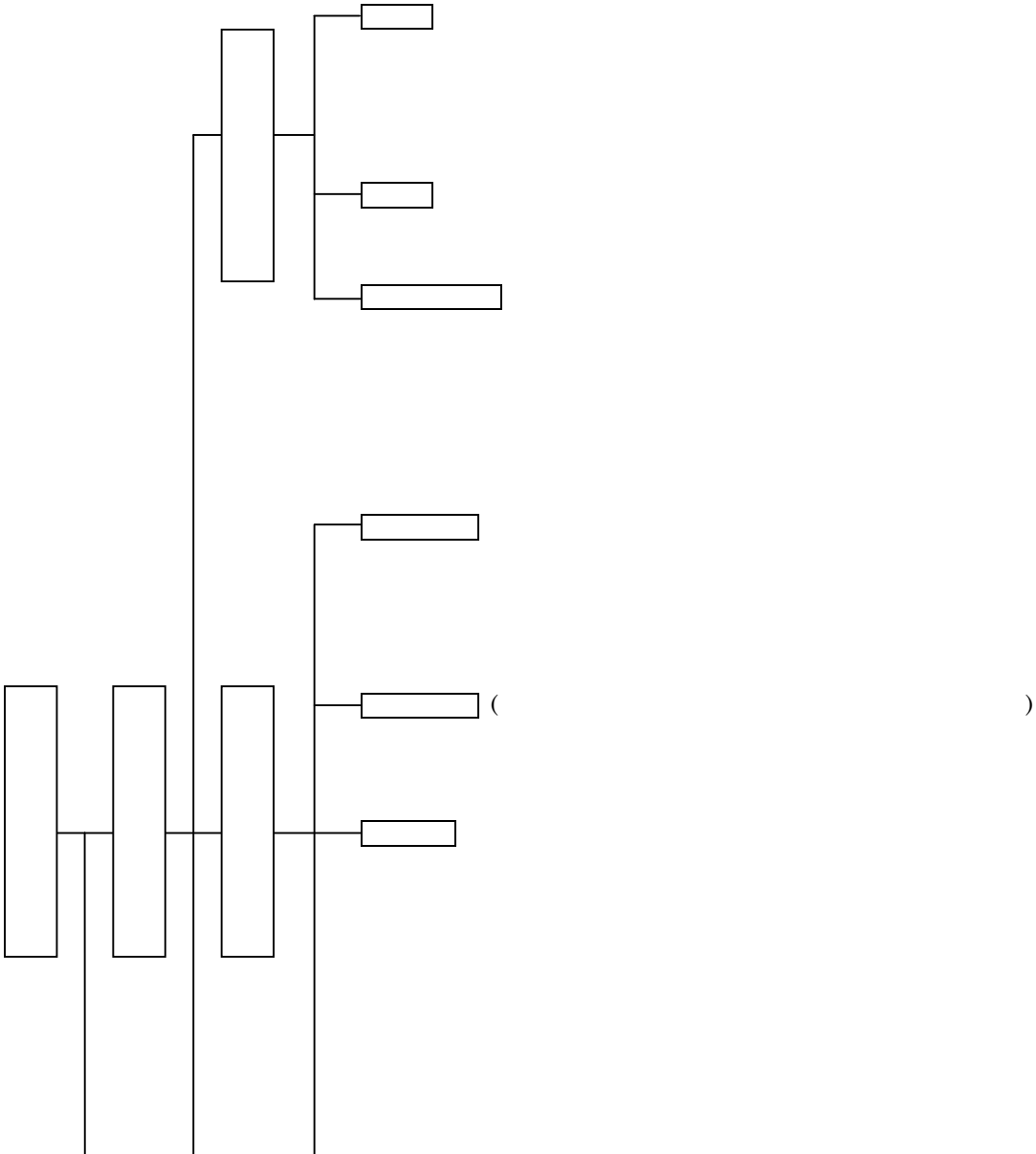
第７部　人権教育

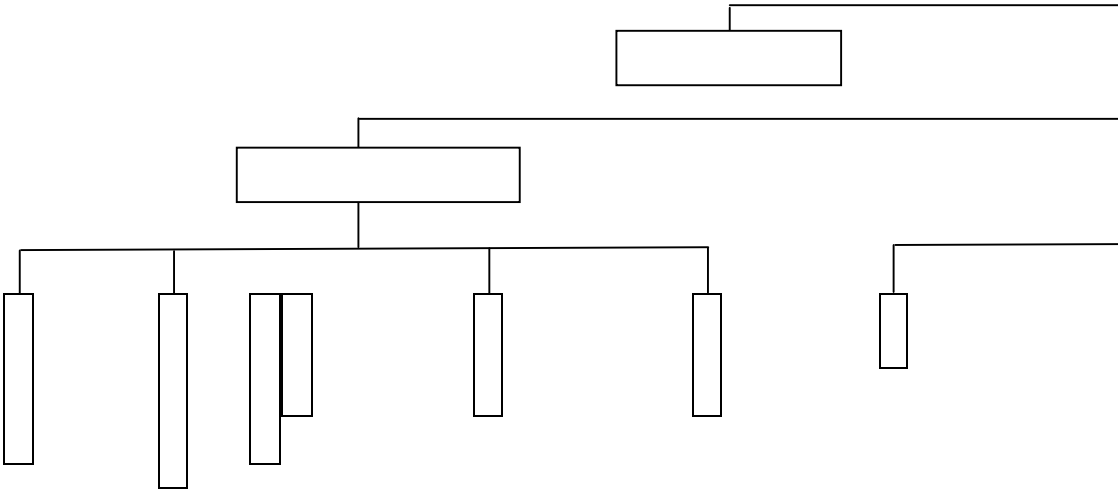
第１節　現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・253

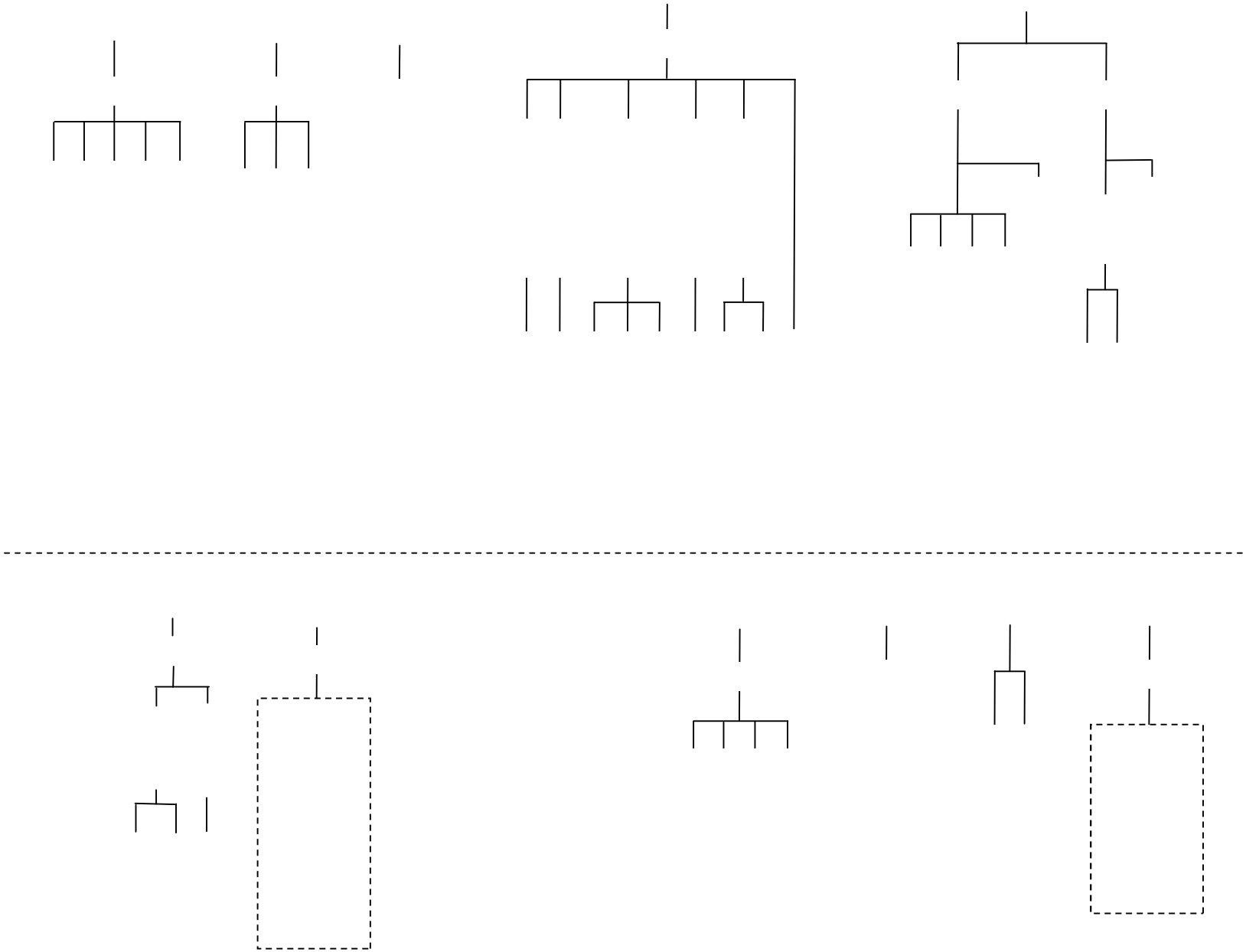
第２節　学校教育における人権教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・254

第３節　社会教育における人権教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・265

資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・275







			◯ ◯ ◯

			○
	○		
	○		
	○		
	○		
	○		
			○
	○		

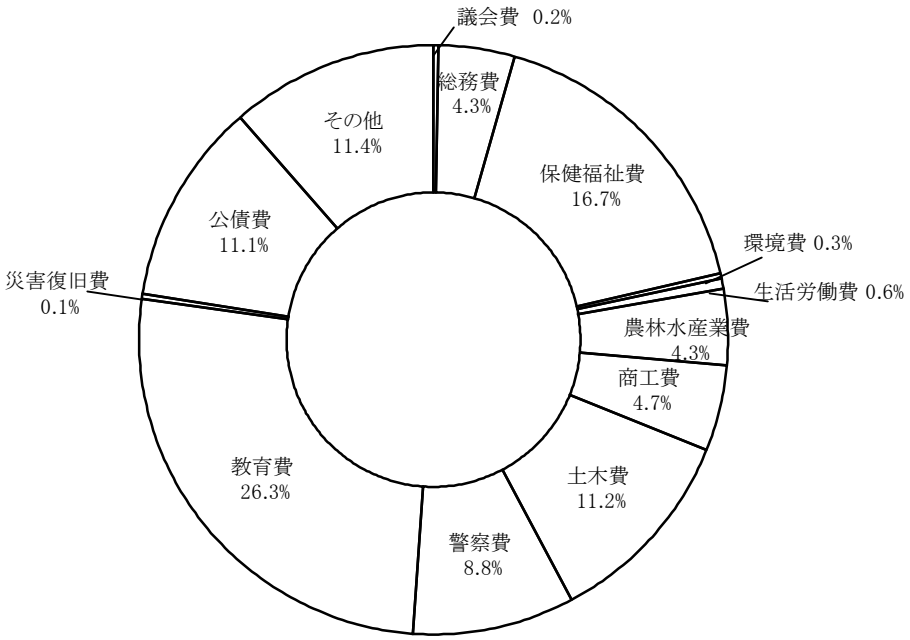
	◯		
	◯		
	◯		
	◯		

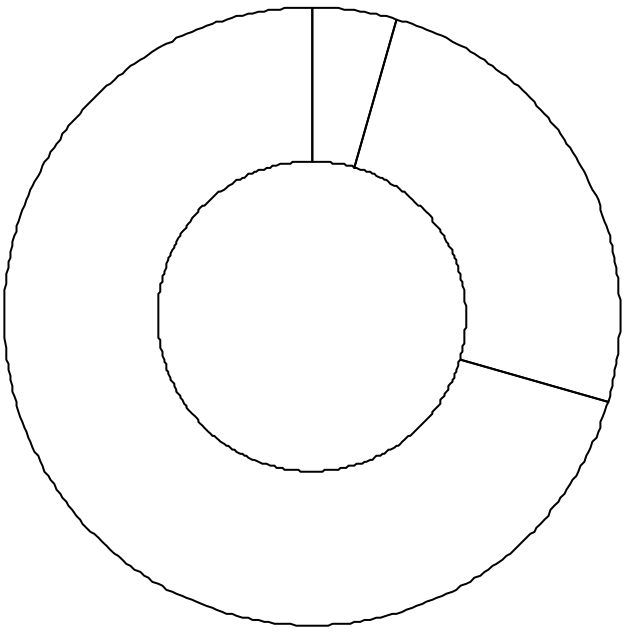
（単位：千円）

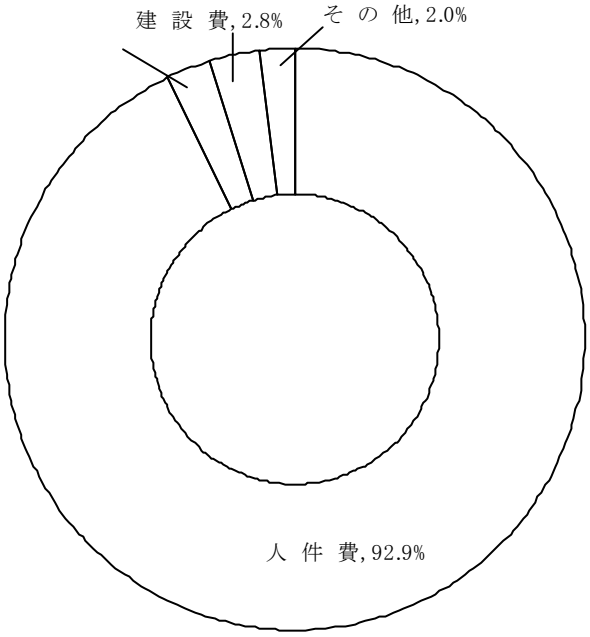
科目		予算額	議決状況 当初予算	6月補正	9月補正	12月補正	2月補正	平成18年度からの繰越明許費等繰越額
教育委員会所管予算額		365,157,937	364,089,047	0	0	△ 482,408	1,551,298	829,921
教育費計		365,155,852	364,089,047	0	0	△ 482,408	1,549,213	829,921
内訳	教育総務費	35,169,328	33,129,034	0	0	△ 90,450	2,130,744	0
	小学校費	143,483,404	143,868,750	0	0	△ 321,370	△ 63,976	0
	中学校費	83,188,682	83,530,655	0	0	△ 326,199	△ 15,774	0
	高等学校費	70,244,144	70,253,613	0	0	386,139	△ 395,608	787,965
	特別支援学校費	27,014,263	26,883,387	0	0	157,934	△ 27,058	15,489
	社会教育費	4,579,269	4,966,952	0	0	△ 312,221	△ 75,462	26,467
	保健体育費	1,476,762	1,456,656	0	0	23,759	△ 3,653	0
総務費		2,085	0	0	0	0	2,085	0
災害復旧費		0	0	0	0	0	0	0
公債費		0	0	0	0	0	0	0
（参考）県予算額		1,527,812,553	1,532,722,240	0	0	166,805	△ 5,076,492	36,523,857

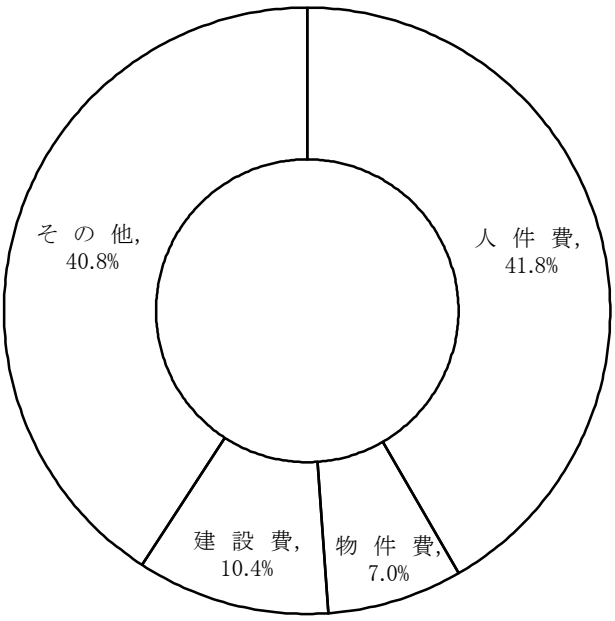
（単位：千円）

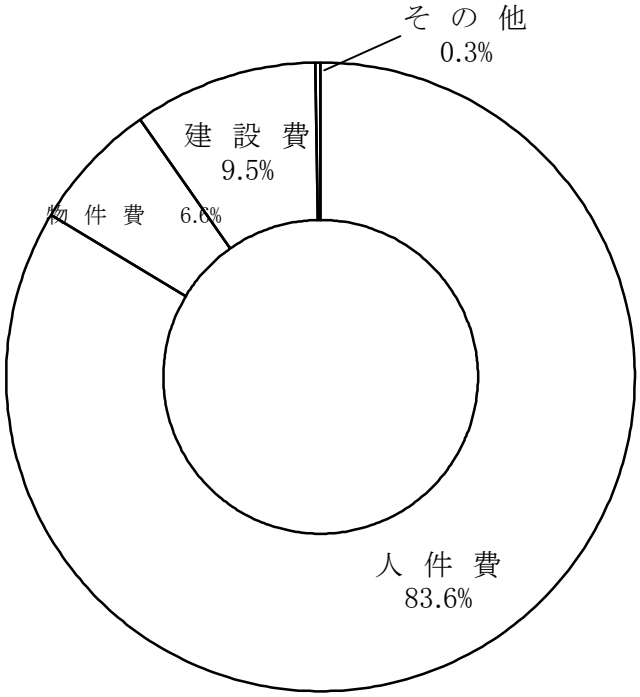
（単位：千円）

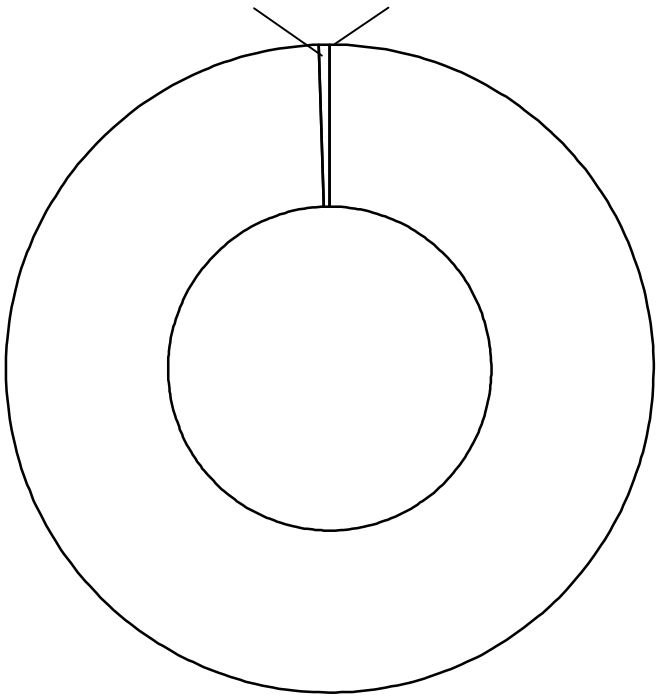

議会費 0.2%
総務費
4.3%
保健福祉費
16.7%
環境費 0.3%
生活労働費 0.6%
農林水産業費
4.3%
商工費
4.7%
土木費
11.2%
警察費
8.8%
教育費
26.3%
災害復旧費
0.1%
公債費
11.1%
その他
11.4%




建 設 費, 2.8%
そ の 他, 2.0%
人 件 費, 92.9%


そ の 他,
40.8%
人 件 費,
41.8%
建 設 費,
10.4%
物 件 費,
7.0%


そ の 他
0.3%
建 設 費
9.5%
物 件 費 6.6%
人 件 費
83.6%



第１章　教育の概要

第１節　現状と課題

１　小学校、中学校及び幼稚園

2　高等学校及び中等教育学校

3　特別支援学校

第２節　小学校、中学校及び幼稚園

１　小学校、中学校

小学校										
中学校										

2　幼稚園

表 4　平成 19 年度　幼稚園の設置、就園状況

表 5　平成 19 年度　幼稚園関係事業実施状況

新採用者教員研修					
連絡会					

第 3 節　高等学校、中等教育学校及び特別支援学校

1　高等学校及び中等教育学校

表 1　平成 19 年度　高等学校の設置状況

表 2　平成 19 年度　全日制課程高等学校（公立）の学科別設置状況

表 3　平成 19 年度　県立高等学校の学科別入学定員

課程																
全日制																
定時制																

表 4　県立高等学校志願状況

	全日制															
	定時制															
	全日制															
	定時制															

表5　平成19年度　類型設置状況(全日制)

普通科					
職業科					

表6 平成19年度　習熟度別学級編成の実施校(全日制)

表７　平成19年度　県立学校関係研修事業

				中学校･県立学校等新任生徒指導主事
				県立学校生徒指導専任教員等
				公立高等学校生徒指導関係教員
				県立中学･高等学校等進路指導主事
				県立中学･高等学校等進路指導主事

			県教育センター等	
			県教育センター等	
			県教育センター等	
			県教育センター等	
			県教育センター等	
			県教育センター等	
			ストレスマネジメント	
	(兼社会貢献活動体験研修グループ代表者会議)			
		初任研センター研修(10日間)		

			県内及び近隣の企業	
		12 月 3 日(月)～4 日(火)		
		7 月 26 日(木)～ 8 月 6 日(月) 12 月 25 日(火)～12 月 27 日(木) 1 月 4 日(金)～ 1 月 7 日(月)		

2　特別支援学校

養護学校				

養護学校						

表８　平成１９年度　特別支援学校関係研修事業等

	県立特別支援学校 新規採用教員研修　初任者研修				

表９　平成１９年度特別支援教育関係長期派遣研修

表１０　文部科学省等主催事業など県外行事への派遣

第４節　学校の設置及び廃止等

平成19年度　公立学校設置廃止等一覧表

第５節　高等学校進学者の受入れ

第６節　県立高校教育改革の推進

第２章　教育活動

第１節　教育指導の実際

１　研究指定・委嘱

平成19年度　文部科学省及び福岡県教育委員会研究指定・委嘱校(園)等

2　中学生進路相談事業

3　道徳教育

4　生徒指導

平成 19 年度　生徒指導に関する研修会

5　キャリア教育

7　産業教育

平成 19 年度県立高等学校職業教育担当教員企業研修派遣者一覧

			千葉商科大学	
			社団法人発明協会	
			東京都立農芸高等学校	
			国立オリンピック記念 青少年センター	

			会計のプロフェッショナルの指導技術の育成
			「会計実務」の知識と実践力の育成
			食生活を取り巻く環境に関する課題及び食生活領域の指導に有効な知識・技術の習得
			園芸作物の必須元素の含量とその分析法
			先進的農業技術
			三次元 CAD SolidWorks の基本操作の習得及びこれを応用した設計及びシミュレーション

8　国際理解教育

9　学校図書館

				エルガーラホール	記念講演 演題 「いちばん大切なのは、わくわくすること」 講師　角野　栄子
				福岡県教育センター	「情報メディアの活用」(2 単位) 「学校図書館メディアの構成」(2 単位)
高校部会・研修会				エルガーラホール	
	合同研修会 高校生徒図書委員会			国民宿舎めかり山荘	
				宗像グローバルアリーナ	
				直方いこいの村	
				大川市ふれあいの家	
学校司書研修会				アミカス	講演 「音楽を通しての心のふれあい」 講師　カントリーミュージシャン チャーリー永谷　氏
				福岡県立図書館	講演 「生徒と先生であふれる学校図書館づくり」 講師　図書館づくりと子どもの本の研究所 代表　平湯　文夫　氏
				福岡県立図書館	
				アミカス	講演 「所謂　九大生解剖事件を歴史的教訓に」 講師　医療法人愛成会会長　東野　利夫氏

			受賞校		
			受賞校		
			受賞者		

10　統計教育

11　情報教育

	県立学校等初任者研修、10 年研修	
	小・中経 5 年研修	
	キャリアアップ講座、スペシャリスト養成講座、リーダー養成講座	
	普通教科「情報」研修会	

12　男女共同参画教育

13　環境教育

14　科学教育推進事業

1

2

1

2

3

15　いきいき体験活動推進事業

第 2 節　付随的教育活動

1　福岡県教育文化奨学財団

<table>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="7">高等学校</td><td rowspan="2">支度金</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">奨学金</td><td colspan="2" rowspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="10"></td><td rowspan="6"></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
</table>

第３章　教　　職　　員

第１節　教職員の人事管理

１　市町村立学校教職員定数と人事異動

表１　平成 19 年度　市町村立学校教職員定数比較表

基準定数							
基準外定数							

表２　平成 19 年度末　市町村立学校教職員人事異動集計表

表 3　平成 19 年度末　市町村立学校教職員退職状況

2　県立学校教職員定数と人事異動

表2　平成19年度末及び平成20年度当初人事異動状況

表 3　平成 19 年度末　県立学校教職員退職状況

表１

平成 19 年度　県立学校教職員条例定数比較表

表４　平成20年度当初　県立学校教員採用状況

３　教職員の服務

４　分限・懲戒処分

5　争訟事件

6　免許と資格

平成19年度　免許状授与件数

種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援	幼稚園	養護	栄養	計	書換再交付	合計

平成19年度　免許状授与件数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	外国語	書道	保健体育	保健	看護	家庭	地理・歴史	公民	農業

	工業	商業	技術	職業	宗教	商船	水産	工芸	柔道	剣道	情報	福祉	建築	合計

表１　平成19年度　「特別非常勤講師」の届出状況

平成19年度福岡県教育職員免許法認定講習一覧表

区分					単位				
	第二欄								
	第三欄								

	第六欄								

区分					単位				
教科・養護に関する科目	小学校								
	小学校・中学校合同								

	小学校・中学校合同								

区分					単位				
特別支援教育に関する科目	第一欄								
	第二欄								

特別支援教育に関する科目	第二欄								
	第三欄								
栄養に係る教育に関する科目	第二欄								

7　教職員等の研修

平成 19 年度　研修会実施

初任者研修						
教職経験２年経過教員研修						
教職経験５年経過教員研修						
			6 月 20 日、6 月 29 日、11 月 1 日、11 月 13 日			
年経験者研修						

年経験者研修					
新規採用養護教諭研修					
教職経験5年経過養護教諭研修					
年経験者養護教諭研修					
新任校内研修担当者研修					
新任教務主任研修					
学校管理職研修	小学中学				
	県立学校				

平成19年度　長期研修派遣状況

平成19年度主要調査実施状況

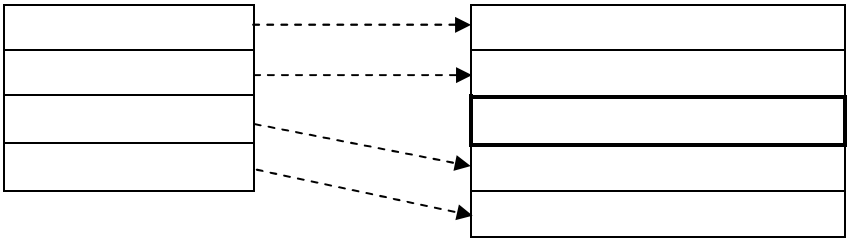
第２節　教職員の健康管理

１　健康診断

２　教職員の休職状況（新規休職者数一覧）

第３節　教職員の給与

１　給与改定



2　退職手当

平成19年度　退職手当支給状況

第４節　教職員の福利厚生

１　公務災害等補償

２　教職員住宅

住宅管理状況一覧(H20.3.31)

3　公立学校共済組合

表１　短期経理収支決算状況

収入				
支出				

短 期 給 付 支 給 状 況

区分			平成18年度		平成19年度		前年度対比			
			件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数(%)	金額(%)
法定給付	保健給付	療養の給付	269,602	2,961,527,062	277,792	2,884,720,305	8,190	−76,806,757	3.04	−2.59
		入院時の食事・生活療養の給付	3,127	37,299,096	2,946	32,248,800	−181	−5,050,296	−5.79	−13.54
		訪問看護療養の給付	32	3,488,209	24	1,769,536	−8	−1,718,673	−25	−49.27
		家族療養の給付	272,566	2,729,005,236	272,469	2,717,747,570	−97	−11,257,666	−0.04	−0.41
		家族入院時の食事・生活療養の給付	3,089	43,832,401	2,959	39,304,012	−130	−4,528,389	−4.21	−10.33
		家族訪問看護療養の給付	100	6,188,774	109	5,542,547	9	−646,227	9	−10.44
		高額療養の給付	1,143	141,852,336	1,530	178,761,985	387	36,909,649	33.86	26.02
		療養費	19,688	90,185,872	20,941	91,628,498	1,253	1,442,626	6.36	1.6
		家族療養費	9,207	48,390,274	9,360	48,579,823	153	189,549	1.66	0.39
		高額療養費	3,083	291,472,806	2,039	170,288,931	−1,044	−121,183,875	−33.86	−41.58
		薬剤（本人・家族）	245,386	1,114,882,425	252,711	1,186,108,390	7,325	71,225,965	2.99	6.39
		移送料(本人・家族)	1	42,931	2	46,480	1	3,549	100	8.27
		出産費	430	160,130,535	392	137,200,880	−38	−22,929,655	−8.84	−14.32
		家族出産費	270	88,995,870	283	99,000,000	13	10,004,130	4.81	11.24
		埋葬料	29	8,431,311	27	1,350,000	−2	−7,081,311	−6.9	−83.99
		家族埋葬料	104	25,188,105	97	4,850,000	−7	−20,338,105	−6.73	−80.74
		小　計	827,857	7,750,913,243	843,681	7,599,147,757	15,824	−151,765,486	1.91	−1.96
	直営保健給付		11,478	236,373,164	11,317	251,435,992	−161	15,062,828	−1.4	6.37
	休業給付		5,183	772,035,921	5,372	908,033,365	189	135,997,444	3.65	17.62
	災害給付		6	1,574,665	1	939,380	−5	−635,285	−83.33	−40.34
	小　計		16,667	1,009,983,750	16,690	1,160,408,737	23	150,424,987	0.14	14.89
合　計（Ａ）			844,524	8,760,896,993	860,371	8,759,556,494	15,847	−1,340,499	1.88	−0.02
附加給付等	附加給付	家族療養費附加金	3,124	103,857,700	3,054	117,552,303	−70	13,694,603	−2.24	13.19
		家族訪問看護療養費附加金	0	0	0	0	0	0	0	0
		出産費附加金	425	12,960,868	392	19,570,000	−33	6,609,132	−7.76	50.99
		家族出産費附加金	270	9,193,956	283	14,130,000	13	4,936,044	4.81	53.69
		埋葬料附加金	29	725,000	27	675,000	−2	−50,000	−6.9	−6.9
		家族埋葬料附加金	104	2,669,848	96	2,400,000	−8	−269,848	−7.69	−10.11
		直営保健家族療養費附加金	42	1,358,200	57	1,992,600	15	634,400	35.71	46.71
		傷病手当金附加金	90	22,720,032	130	36,161,602	40	13,441,570	44.44	59.16
		災害見舞金附加金	24	6,164,038	3	1,166,561	−21	−4,997,477	−87.5	−81.07
		結婚手当金	438	35,040,000	414	33,120,000	−24	−1,920,000	−5.48	−5.48
		入院附加金	2,741	18,909,000	2,464	17,384,500	−277	−1,524,500	−10.11	−8.06
		小　計	7,287	213,598,642	6,920	244,152,566	−367	30,553,924	−5.04	14.3
	一部負担金払戻金		4,815	152,826,500	4,540	166,736,300	−275	13,909,800	−5.71	9.1
合　計（Ｂ）			12,102	366,425,142	11,460	410,888,866	−642	44,463,724	−5.3	12.13
総　計（Ａ＋Ｂ）			856,626	9,127,322,135	871,831	9,170,445,360	15,205	43,123,225	1.77	0.47

表１　平成19年度　　保健福祉事業実施状況

貸 付 金 貸 付 状 況

各施設の利用状況及び収支状況

4　教職員互助会補助

5　教職員の財産形成貯蓄

教職員の財産形成貯蓄加入状況

第４章　学校施設・設備

第１節　小・中学校の施設整備状況

１　保有面積

表１　小・中学校保有面積及び構造比率の比較

２　文教施設整備等補助金

表　2

第２節　県立学校の施設・設備整備状況

１　校舎の維持、修繕

２　校地の整備

３　県立学校施設の整備

第３節　産業教育施設整備及びその他の設備の整備状況

１　産業教育振興法によるもの

表１　高等学校産業教育施設整備事業

表２　高等学校産業教育設備整備事業

2　理科教育振興法によるもの

表３　理科教育整備事業

第５章　教育研究

第１節　教職員の研究活動

１　教育研究団体の助成

２　教育研究・科学研究の奨励

第２節　県教育センターの事業

１　概　要

２　調査研究事業

本県の教育課題及び経営課題を解明するために必要とみなされる専門的・技術的、並びに今後の学校教育の方向性を示す先進的な事項についての調査研究を行い、施策に生かすための基礎資料の提示を行った。

また、その成果を課題解決に向けた手引等の作成や教育センターにおける研修事業に活用することを通して、県内各学校への研究成果の啓発・普及を行った。

平成 19 年度調査研究事業研究主題等一覧

3　研修事業

福岡県教育公務員の長期にわたる研修に関する規則に基づいて、各地域の中核となる教員として備えるべき資質・能力を習得させ、学校教育に係る喫緊の課題に対応できる人材及び学校や地域における研修を推進する人材を育成した。

平成19年度は、県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校から派遣された49人が、研修分野別に関係する班に配属され、担当指導主事より助言を受けながら、学校や地域における教育課題に関する主題を設定し、その解決を図るための方法を研究・研修した。

平成19年度　基本研修実績（県教育センター主管分）

研修分野	講座番号	講　座　名	主な受講対象者	定　員	研　修　日
社会	115	はじめよう法教育（小・中・高）	教諭 講師	小10名 中20名 高10名	8/23（木）
英語	141	Let's begin!　はじめての英語活動（小）	教諭 講師	小30名	8/1（水） 9/19（水）
技術・家庭	163	ロボットを用いた制御学習とものづくり（中）	教諭	中16名	8/9（木） 8/10（金） 10/3（水）
図書館教育	181	情報メディアセンターとしての学校図書館運営の視点 ～豊かな心を育む読書活動～	教諭 司書	小15名 中10名 高5名	10/26（金） 11/2（金）
総合	234	ここから始める！小中連携の総合的な学習の時間（小・中）	教諭 講師	小15名 中15名	6/27（水）
道徳	241	子どもの規範意識を高める教育活動の推進（小）	教諭	小30名	7/5（木） 10/11（木）
道徳	242	子どもの規範意識を高める教育活動の推進（中）	教諭	中30名	7/5（木） 10/10（水）
職業教育	243	はじめよう！キャリア教育	教諭	小20名 中20名 高20名	7/31（火） 11/8（木）
教育相談	401	エンカウンターでつくる豊かな人間関係（小）	教諭 養護教諭	小30名	10/9（火） 10/16（火）
教育相談	402	エンカウンターでつくる豊かな人間関係（中・高）	教諭 養護教諭	中20名 高10名	10/9（火） 10/18（木）
生徒指導	406	人間関係力を高め、非行防止に生かそう！	教諭 養護教諭	小20名 中20名	8/6（月） 8/7（火）
生徒指導	407	いじめの早期発見と対応の在り方	教諭 養護教諭	小20名 中20名 高10名	6/19（火） 6/26（火）
教育相談	409	学校で生かせる教育相談	教諭 養護教諭	小20名 中20名 高10名	8/28（火） 8/29（水）
情報	509	半日講座・小学校の情報教育の進め方	教諭 養護教諭 栄養教諭 学校栄養職員 講師	小30名	6/27（水） 8/27（月） 9/10（月）
情報	510	半日講座・中学校・高等学校の情報教育の進め方	教諭 養護教諭 栄養教諭 実習助手 寄宿舎指導員 司書 学校栄養職員 講師	中25名 高5名	7/3（火） 8/28（火） 9/7（金）
特別支援教育	605	小・中・高等学校の先生のための高機能自閉症・アスペルガー症候群の子どもの理解と指導	校長 教頭 教諭 養護教諭 講師	小25名 中15名 高10名	8/20（月） 8/21（火）
特別支援教育	606	すすめよう！発達障害のある子どもへの実践的指導	教諭 講師	小26名 中11名 高3名	7/25（水） 8/1（水）

研修分野	講座番号	講　座　名	主な受講対象者	定　員	研　修　日
国語	101	国語力を高める国語科学習指導の基礎・基本（小）	教諭 講師	小40名	6/28（木） 6/29（金）
国語	104	伝え合う力を育てる国語科学習指導（中・高）	教諭	中20名 高15名	6/27（水）
国語	105	豊かな心情を育てる国語科「読むこと」の学習指導（高）	教諭 講師	高20名	7/25（水）
社会	111	博物館を利用した社会科の授業づくり（小）	教諭 講師	小20名	6/19（火） 6/27（水）
社会	113	博物館を利用した社会科の授業づくり（中）	教諭 講師	中15名	6/19（火） 6/28（木）
地理歴史	116	課題解決型地歴・公民科授業への挑戦（高）	教諭 講師	高20名	8/27（月）
算数	121	算数的活動でつくる楽しい授業（小）	教諭	小40名	7/23（月） 7/24（火）
数学	123	基礎・基本の確実な定着をめざす数学科の授業づくり（中）	教諭 講師	中20名	6/28（木） 8/29（水）
数学	125	今日から始める「GRAPES」（高）	教諭	高18名 特2名	8/23（木） 8/24（金）
理科	131	基礎から学ぶ観察・実験の技能（小・中）	教諭 講師	小10名 中10名	8/29（水） 9/14（金）
理科	134	身近なテーマによる先進的な生物実験（高）	教諭 実習助手 講師	高10名	7/5（木） 8/9（木）
理科	135	身近なテーマによる先進的な化学実験（高）	教諭 実習助手 講師	高10名	6/27（水） 8/1（水）
英語	143	半日講座・「表現の能力」を高める英語科ライティング指導（中・高）	教諭	中10名 高8名 特2名	7/3（火） 9/25（火）
英語	144	効果的なリーディング指導の在り方（高）	教諭	高18名 特2名	8/21（火）
生活	151	自然や社会体験を生かした生活科学習指導の工夫（小）	教諭 講師	小20名	8/7（火） 10/26（金）
総合	152	土づくりから始める栽培活動（A）	教諭	小15名 中3名 特2名	6/27（水） 8/2（木） 8/8（水）

研修分野	講座番号	講　座　名	主な受講対象者	定　員	研　修　日
総合	153	土づくりから始める栽培活動(B)	教諭	小15名 中3名 特2名	6/28 (木) 8/7 (火) 8/10 (金)
家庭	161	基礎から始める小学校家庭科(小)	教諭 栄養教諭 学校栄養職員	小10名	8/1 (水) 8/2 (木)
音楽	171	こうすれば変わる♪音楽科学習指導(小)	教諭	小28名 特2名	6/27 (水) 6/28 (木)
音楽	172	音楽科の授業づくり♪お悩み解決しま専科 (小・講師対象)	講師	小15名	7/5 (木)
音楽	173	「日本の伝統音楽」を取り入れた音楽科の授業づくり (中・高)～尺八音楽を中心に～	教諭 講師	中18名 高2名	8/8 (水) 8/29 (水)
図画工作	174	つくり出す喜びにあふれる造形教育(小)	教諭	小20名	7/25 (水) 7/27 (金)
芸術	176	芸術科書道学習指導　鑑賞と表現の在り方(高) ～漢字仮名交じりの書を中心に～	教諭	高10名	8/6 (月) 8/7 (火)
特別活動	223	授業を見て学ぶ学級活動の進め方(小・中)	教諭 講師	小20名 中20名	6/15 (金) 10/16 (火)
道徳	224	道徳の授業づくり基礎・基本(小)	教諭 講師	小35名 特5名	7/4 (水) 10/19 (金)
道徳	225	道徳の授業づくり基礎・基本(中)	教諭 講師	中35名 特5名	6/29 (金) 10/4 (木)
総合	231	確実に力がつく！魅力ある総合的な学習の時間(小)	教諭 講師	小30名	7/27 (金) 10/5 (金)
総合	232	生徒の力を伸ばす！総合的な学習の時間(中)	教諭 講師	中30名	7/27 (金) 10/2 (火)
総合	233	総合的な学習の時間の授業づくり(高)	教諭	高18名 特2名	10/18 (木)
人権	304	やってみませんか、体験的参加型学習(初級)	教諭 栄養教諭 講師	小15名 中5名 高5名 特5名	8/21 (火)
生徒指導	404	コーチングを生かした人間関係づくり	教諭	小20名 中20名 高10名	10/2 (火) 10/3 (水)
生徒指導	405	生徒指導の機能を生かした授業づくり	教諭	小15名 中15名	8/24 (金) 11/20 (火)
教育相談	408	高校で使えるカウンセリングとキャリア教育の基礎	教諭	高20名	8/9 (木) 8/10 (金)
情報	505	授業で活かそう！インターネット	教諭 養護教諭 栄養教諭 事務職員 司書 学校栄養職員 講師	小25名 中15名 高8名	6/15 (金) 6/18 (月)
情報	508	半日講座・プレゼンテーションソフトウェア入門 (e－learning活用)	教諭 養護教諭 栄養教諭 実習助手 寄宿舎指導員 司書 学校栄養職員 講師	小10名 中5名 高5名	7/23 (月) 9/13 (木)
情報	513	はじめてのロボットづくり	教諭 実習助手 講師	小7名 中3名 高2名 特4名	8/1 (水) 8/2 (木)
情報	516	初めて情報を受け持つ先生のための 教科「情報」の指導法	教諭 講師	高10名	8/2 (木) 10/2 (火)
情報	517	e-learningと半日講座で学ぶ・これだけはおさえよう！ 先生のためのICT活用基礎	教諭 講師	小30名	7/5 (木) 8/23 (木) 9/25 (火)
職業教育	518	科目「ビジネス基礎」の英語	教諭 講師	高10名	8/28 (火) 8/29 (水)
特別支援教育	601	すすめよう！知的障害のある子どもの指導 (A:特別支援学級コース、B:特別支援学校コース)	教諭 講師	小18名 中8名 特10名	7/27 (金) 8/7 (火) 8/8 (水)
特別支援教育	602	言葉に課題のある子どもの理解と支援 ～話し言葉の発音とリズム等の課題を中心に～	教諭 講師	小20名 中5名 高5名 特10名	8/28 (火) 8/29 (水)
特別支援教育	607	明日からできる！聴覚障害児の発音・発語指導	教諭 講師	小5名 特10名	8/22 (水) 8/23 (木)

研修分野	講座番号	講　座　名	主な受講対象者	定　員	研　修　日
国語	102	授業力を高めよう(小) ～国語科・説明文の授業編～	教諭 講師	小40名	8/23 (木)
国語	103	授業力を高めよう(中) ～国語科・論理的思考力を伸ばす授業編～	教諭 講師	中20名	8/1　8/2 (水)　(木)
社会	112	「対話型」社会科授業づくりへの挑戦(小)	教諭	小20名	7/3 (火)
社会	114	新しい社会科学習の授業づくりへの挑戦(中)	教諭	中20名	8/7 (火)
算数	122	確かな学力を育てる算数科学習(小)	教諭	小30名	6/19　8/1　10/23 (火)　(水)　(火)
数学	124	数学的な見方や考え方を伸ばす学習活動の創造(中)	教諭	中30名	8/7　10/2 (火)　(火)
数学	126	図形分野の指導を中心にした授業改善(高)	教諭	高20名	8/3 (金)
理科	132	科学的な見方や考え方を育てる理科学習指導の改善(小)	教諭	小20名	6/22　7/31　8/28 (金)　(火)　(火)
理科	133	知的好奇心を喚起！自然を調べる能力や態度を育てる理科学習指導の創造(中)	教諭	中16名	8/2　8/23 (木)　(木)
英語	142	タスク活動を取り入れた新しい英語科授業の創造(中)	教諭	中30名	8/8　10/16 (水)　(火)
英語	145	英語の授業改善講座(高)	教諭	高20名	10/22 10/23 (月)　(火)
職業教育	154	農業生産技術の成果を測る植物生理の実験・調査方法	教諭 実習助手	高10名 特2名	7/23　7/25 (月)　(水)
技術・家庭	162	家庭科教師のためのスキルアップ講座(中・高)	教諭	中10名 高10名	7/27　7/30　8/28 (金)　(月)　(火)
美術	175	美術科学習指導の充実・改善の視点(中・高)	教諭 講師	中20名 高5名	6/22　7/26 (金)　(木)
授業研究	221	子どもが伸びる！研究授業の進め方(小)	教諭	小30名	9/14 (金)
授業研究	222	生徒が伸びる！研究授業の進め方(中)	教諭	中30名	6/28 (木)
人権	301	考えよう、様々な人権問題と人権	教諭 栄養教諭	小20名 中10名 高5名 特5名	8/2　8/3 (木)　(金)
人権	302	授業改善で高める子どもの自尊感情	教諭	小30名	6/28　9/26　10/26 (木)　(水)　(金)
人権	303	人権教育と『かがやき』活用	教諭 講師	中15名 高10名 特5名	7/11　8/6 (水)　(月)
教育相談	403	不登校の児童生徒に対する理解と対応(事例研究)	教諭 養護教諭	小10名 中10名	9/7　11/8 (金)　(木)
情報	501	一からはじめるWindowsネットワーク基礎(A)	教諭 事務職員	小4名 中8名	7/25　8/23 (水)　(木)
情報	502	一からはじめるWindowsネットワーク基礎(B)	教諭 実習助手 事務職員	小4名 高8名	7/25　8/24 (水)　(金)
情報	503	学校で使おう！表計算応用	教諭 養護教諭 栄養教諭 実習助手 事務職員 司書 学校栄養職員	小17名 中14名 高9名	8/20　8/21 (月)　(火)
情報	504	学校で使おう！データベース活用	教諭 養護教諭 実習助手 事務職員 司書 学校栄養職員	小14名 中14名 高12名	7/23　7/24 (月)　(火)
情報	506	教材作成！マルチメディアの活用	教諭 養護教諭 栄養教諭 実習助手 学校栄養職員	小22名 中10名 高4名	8/6　8/24 (月)　(金)
情報	507	簡単！動画の編集と動画の活用	教諭 養護教諭 栄養教諭 実習助手 学校栄養職員	小22名 中16名 高10名	7/27　8/29 (金)　(水)
情報	511	クライアント／サーバ型データベースによるシステム構築	教諭 養護教諭 栄養教諭 実習助手 事務職員 学校栄養職員	小5名 中5名 高6名	8/6　8/8 (月)　(水)
情報	514	PICやUSBを使用した制御の世界へ飛び込もう！	教諭 実習助手	中4名 高6名 特2名	7/26　7/27 (木)　(金)
職業教育	515	楽しく学べる旋削技術	教諭 実習助手	高8名	7/30　7/31 (月)　(火)
教育課程経営	519	「産業社会と人間」の指導 ～キャリアプランニングの実際～	教諭	高14名	7/31　10/16　11/20 (火)　(火)　(火)
特別支援教育	603	これで納得！自閉症児の支援 (A:行動上の課題コース、B:意思の伝達コース)	校長 教頭 教諭 養護教諭 寄宿舎指導員 講師	小40名 中20名 高5名 特25名	8/8　8/9　8/10 (水)　(木)　(金)
特別支援教育	604	スキルアップ！重度・重複障害児の指導	教諭 講師	特25名	7/30　7/31　8/1 (月)　(火)　(水)

研修分野	講座番号	講　座　名	主な受講対象者	定　員	研　修　日
学校経営	201	スクールリーダーとしての校長の学校経営	校長	小30名 中20名 高7名 特3名	10/25 （木）
学校経営	202	学校の危機管理と校長の役割	校長	小36名 中18名 高3名 特3名	8/1 （水）
学校経営	203	学校の危機管理と教頭の役割	教頭	小36名 中18名 高3名 特3名	8/6 （月）
学校経営	204	経営力を高める教頭の組織マネジメント	教頭	小24名 中12名 高2名 特2名	6/15　7/5 （金）（木）
学校経営	205	経営ビジョンの実現を目指す学校評価と教職員の自己評価（校長）	校長	小36名 中18名 高3名 特3名	8/8 （水）
学校経営	206	学校を活性化させる学校評価と教職員の自己評価（教頭）	教頭	小36名 中18名 高3名 特3名	8/9 （木）
学校経営	207	教職員の意欲を引き出す管理職のコーチング（A）	校長 教頭	小18名 中8名 高2名 特2名	6/29 （金）
学校経営	208	教職員の意欲を引き出す管理職のコーチング（B）	校長 教頭	小18名 中8名 高2名 特2名	7/31 （火）
教育課程経営	209	活力ある教育課程経営と教務主任の役割 （小・中）	教諭	小20名 中20名	6/15　8/7 （金）（火）
学校経営	210	教務主任・学年主任・研究主任のための組織マネジメント（A）	教諭	小20名 中15名 高3名 特2名	6/18　8/23 （月）（木）
学校経営	211	教務主任・学年主任・研究主任のための組織マネジメント（B）	教諭	小20名 中15名 高3名 特2名	6/19　8/22 （火）（水）
情報	512	管理職のための情報教育入門	校長 教頭	小25名 中10名 高5名	7/21 （土）

研修分野	講座番号	講　座　名	主な受講対象者	定　員	研　修　日
幼稚園教育	―	【研修区分③】 保育技術講座	教諭	50名	8/9　8/21　8/23 （木）（火）（木）
幼稚園教育	―	【研修区分④】 幼・小の連携を生かした幼稚園経営	園長 指導的立場にある教諭	40名	6/18 （月）

研修分野	講座番号	講　座　名	主な受講対象者	定　員	研　修　日
算数・数学	191	【研修区分③】 新しい見方に立った算数・数学を体験しよう	教諭 講師	小10名 中10名 高5名	8/18　8/19 （土）（日）
芸術	192	【研修区分②】 書写基礎講座（小・中）	教諭	小20名 中10名	8/1　8/2 （水）（木）
家庭	193	【研修区分③】 これからの家庭科調理実習における大切な考え方と内容 ～「弁当の日」を主体としながら～	教諭 栄養教諭 学校栄養職員	小16名 中16名	8/7　8/8 （火）（水）
体験	194	【研修区分③】 体験!農業と食料・環境問題〈宿泊研修2泊3日〉 ～農業体験を教育に活かしませんか～	教諭 養護教諭 実習助手 講師	24名	7/25　7/26　7/27 （水）（木）（金）
体験	195	【研修区分③】 森林・林業と環境保全講座〈宿泊研修2泊3日〉	教諭	小8名 中5名 高5名 特2名	8/27　8/28　8/29 （月）（火）（水）

研修分野	講座番号	講　座　名	主な受講対象者	定　員	研　修　日
教職経験5年経過教員課題研修	701	【研修区分②】 職能成長を目指す教職専門講座Ⅰ	教諭	小20名 中20名	6/12　7/30 （火）（月）
教職経験5年経過教員課題研修	702	【研修区分②】 職能成長を目指す教職専門講座Ⅱ	教諭	小20名 中20名	6/12　7/30 （火）（月）

平成 19 年度　専門研修（キャリアアップ講座）実績

平成 19 年度　専門研修（スペシャリスト養成講座）受講実績

英語教育スペシャリスト養成講座		
教科指導スペシャリスト養成講座		
学校教育相談スペシャリスト養成講座		
情報化スペシャリスト養成講座		
校内ネットワーク活用コース		
ビジネス情報コース		
ロボット制御コース		
特別支援教育スペシャリスト養成講座		
特別支援教育ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ(小学校)ｺｰｽ		
特別支援教育ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ(中学校)ｺｰｽ		
特別支援学校コース		
視覚障害教育コース		
小・中学校特別支援学級（知的障害、自閉症）コース		

平成 19 年度　専門研修（リーダー養成講座）受講実績

小学校英語活動リーダー養成講座		
ミドルリーダー養成講座		
情報教育推進リーダー養成講座		

4　情報処理教育生徒実習

平成 19 年度　情報処理生徒実習実績

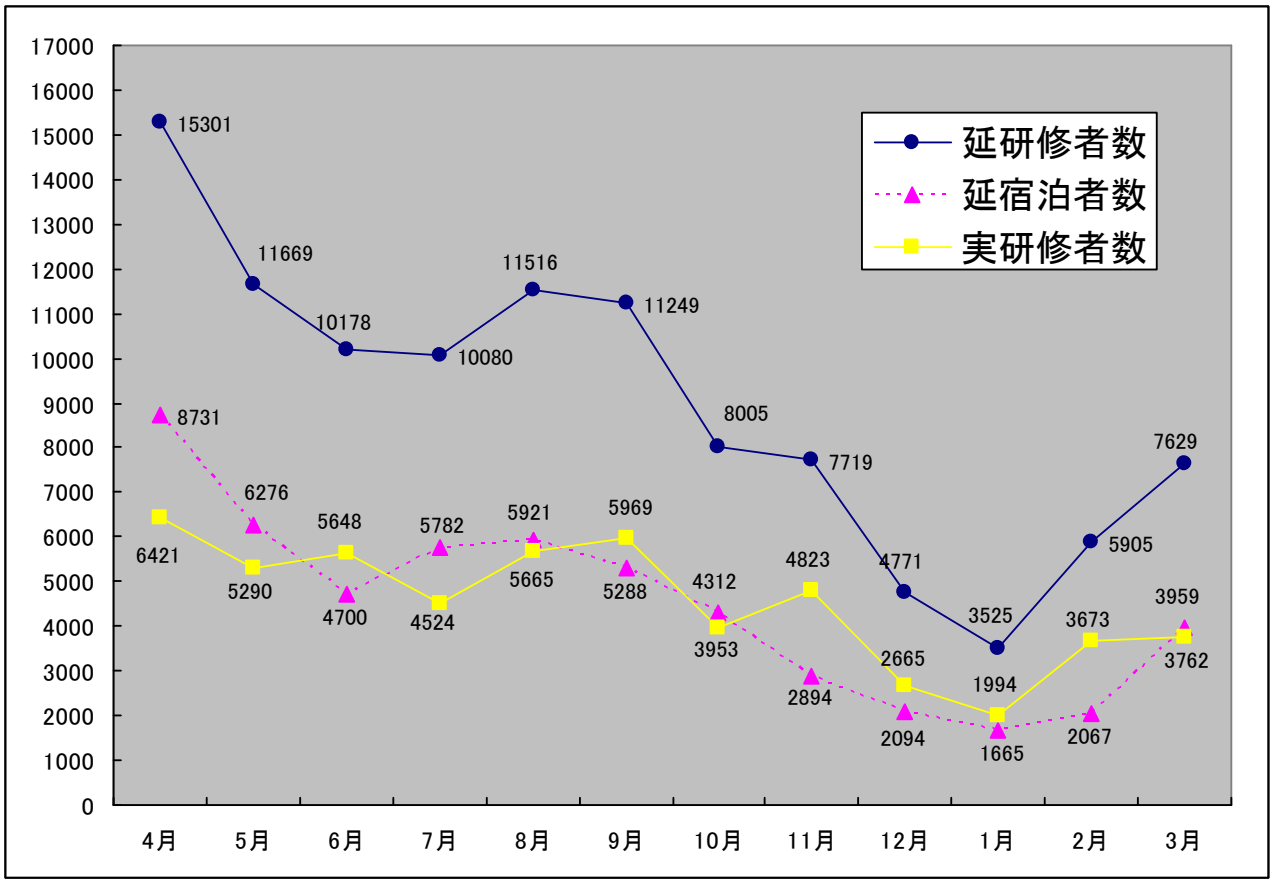
5　教育相談

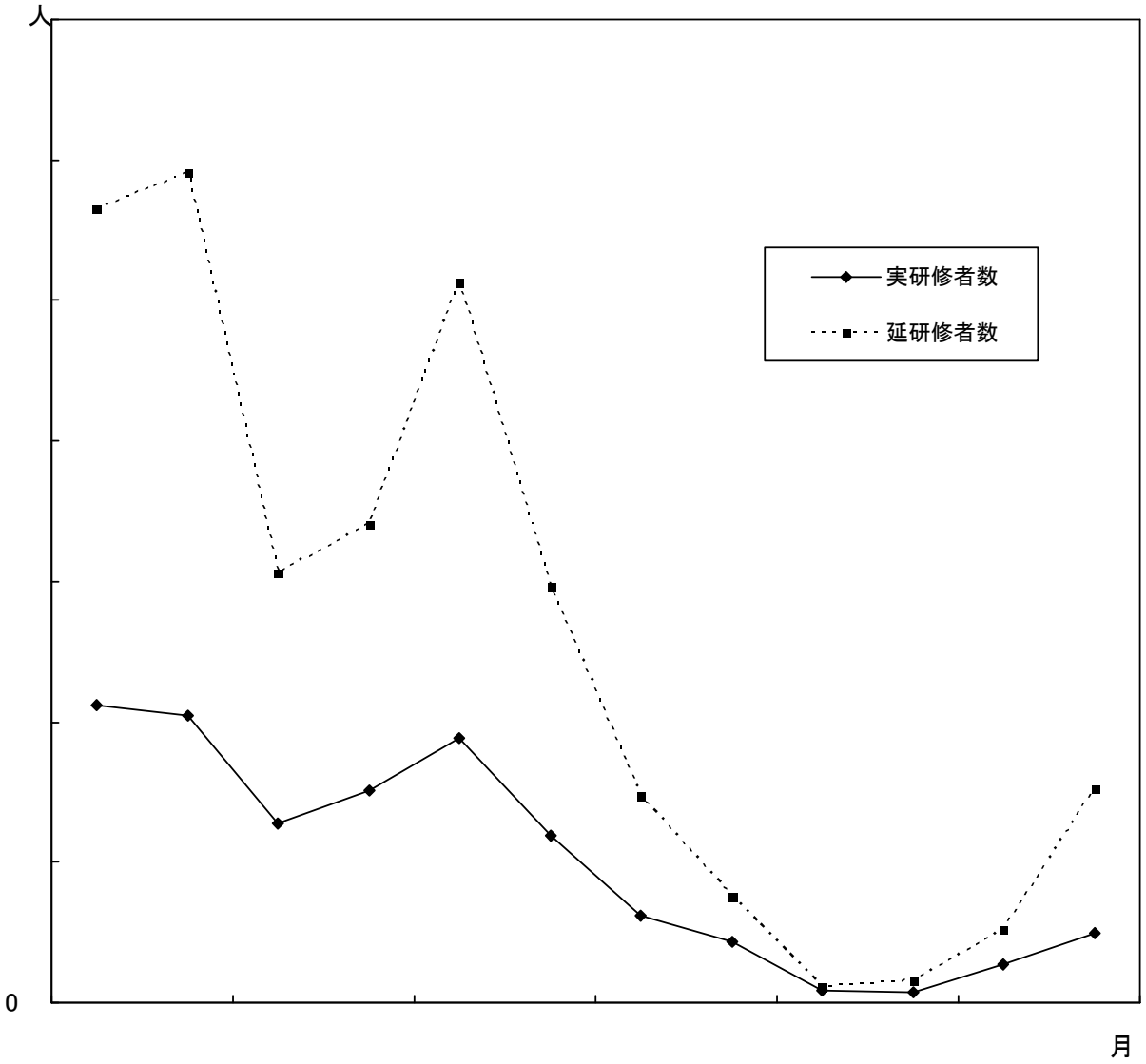
平成 19 年度　教育相談延べ件数

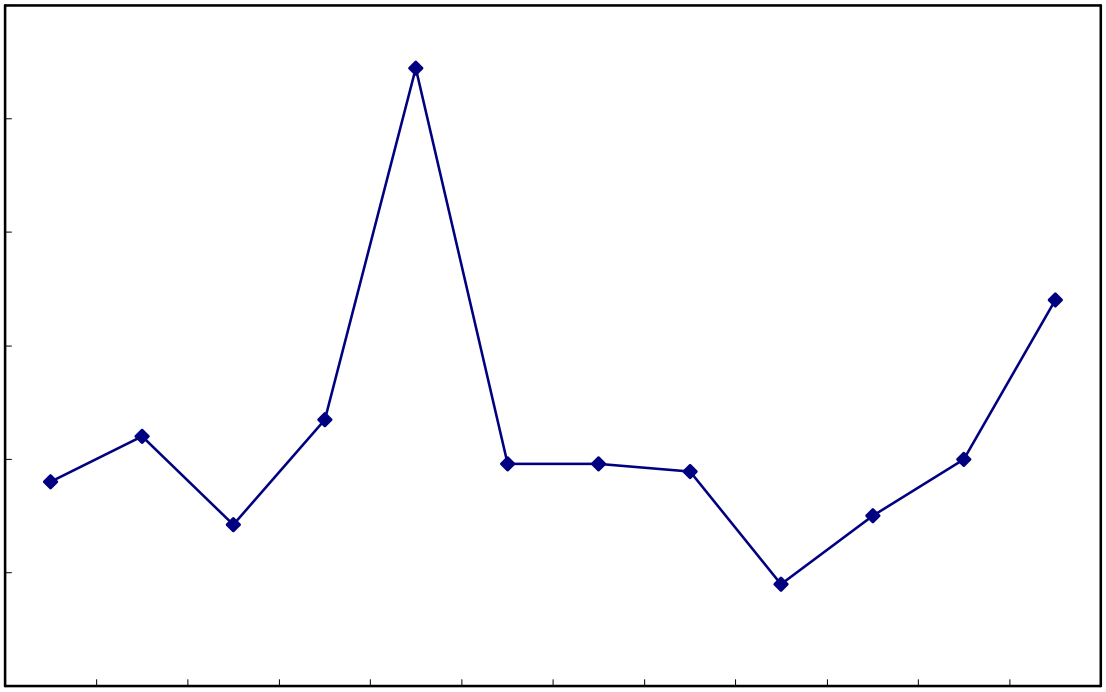
6　授業なんでも相談室

平成 19 年度相談実績（数字は相談件数）

7　教育資料の刊行・普及事業


17000
16000
15000
14000
13000
12000
11000
10000
9000
8000
7000
6000
5000
4000
3000
2000
1000
0
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
延研修者数
延宿泊者数
実研修者数
15301
11669
10178
10080
11516
11249
8005
7719
4771
3525
5905
7629
8731
6276
4700
4524
5782
5921
5969
5288
4312
3953
2894
2094
1665
2067
3959
6421
5290
5648
5665
4823
2665
1994
3673
3762


人
0
月
実研修者数
延研修者数



5　　化

第１節　現状と課題

1　現状と課題

　　、グローバル化や　　化という　　な　会の　化の中で、　　一人ひとりの　主　及び創　　が　　され、　　な　化　　の　　が図られるとともに、　　の主体　で　　な　化　動の　　により、かな　　と　力ある　　会を創　することが　　になっている。また、　どもたちへの「　の　　」の　　が　　されており、　代を　う　どもたちに、優れた　に　れる　会を　供することが　　となっている。

　一　、　　な史　　の　化　を　く　える　　の　化　保　については、　　で　められる　たな　　や　　における　　利　の　　といった問　、あるいは　　が　　するなど、その保　　を　じることが厳しい　　となっている。また、伝　　化の分　では、　　、伝　の　　化が　み、　　の人　　保と　　が　　な　　となっている。

2　平成 19 年度の重点的取組状況と成果

(1)　　化　　については、　　に　　された　　化　　プランに　づき、一　の　　を図った。

　なお、　の　化　　は、　　以　、一　　を　　とした　　化の　　務を　　労働　　化　　からは　　会　　化スポーツ　　が、　どもを　とした　　化の　　務を　　からは　　会　　が　しており、　どもの　化　及事　については、　の事　を　　した。

【　化　の事　】

①　　の　台　　体　事

②　　への　　事

③　どもの　　及事

④　　人　の　　による　化　動　　事

【　の事　】

①　　化　及事

②　　化事　　助

③ ふくおか　　化　「　ども　化事　」「　　体　　」

【　　化　　団の事　】

①　　事　「　台　　動体　事　」「へき　　事　」

(2)　　に　　した、　　など　　名の　員で　　する「　　員会」において、　　の　しいあり　について　き　き　　な　を　った。

(3)　　化　の保　・　　を図るため、　のような事　を　　した。

・　　化　及び　　化　の保　事　に　する助

・　　合　備事　　史　及び　　の公　化事　に　する助　、　　伝　　保　　区の保　修　事　への助　、　　史　の　及び修　・　備、　　の

・　化　保　　員による　化　の

・　　や　　に伴い　　となる　　化　　の受

・　　史ロマン　信事

・　　化　信事

・　化　　会

・一　　向け啓　事　　化　めぐり

・　　刀剣

・九　　史　　の　営

(4)　　化　の　　の　　は、　のとおりであった。

・　　件

・　　化　　件

・　史　　加　　件

・　　化　　件

・　　化　　件、　合　加・名　　一　　件

第２節　子どもの文化普及事業

１　文化庁の事業

(1)　　の　台　　体　事

【事　　】

　　において、優れた　台　　を　　するとともに、　　化団体　による事前のワークショップや　　での共　で、　　の　台　　を　　に　れる　会を　供した。

【　　】

　児　劇　　、　佐　　、内　　、合　　、　劇　　中、　　、三　中、上　中、　　、　　、伊　原中 、オーケストラ　　古　　、オペラ　　中、伊　　、　　中、　　中 、　　、　　、

(2)　　への　　事

【事　　】

　　の　化　動の　　化を図るため、優れた　動を　っている　　や伝　　の保　を出　　の　　に　　し、　　、　　を　った。

【　　】

　　、　　、　北　、内　　、千代　、　　中、中　　、　　、　　中、　　・　中　　分　、　　中、吉　　、　吉　、　上　、　　中、　合

(3)　どもの　　及事

【事　　】

　　における　　会を　供し、　どもたちに　　に　する　味を　たせ、　　を　する　を　てることを　　として　　した。

【　　】

　　員会、　　員会

(4)　　人　の　　による　化　動　　事

【事　　】

　　の　化　　人　を　　し、　　の　化　　動での　　や、　　・休　　における児　・

　の　化　　動を　　した。

【　　】

　前　　化体　プログラム　　員会

2　県の事業

(1)　　化　及事

【事　　】

　内　　化団体を　別　　に　　して公　を　　した。

【　　】

　内公　　令　を　く。　別　　で、　　アンサンブル、マリンバアンサンブル、ブラスアンサンブル、　劇、パントマイム、中　　の公　を　　した。

(2)　　化事　　助

【事　　】

　　の　　化の　　を図るために、　　化団体を助　した。

【助　団体】

　　古　　保　協会、　　史と　　をまもる会、　　・　化

　　協会、　　中　　化

(3) ふくおか　　化　「　ども　化事　」

【事　　】

　どもたちに　な　台　を　する　会を　供することにより、　　化に　しむ　かな　を　むとともに、　　化　動への参加　を喚　するために　した。

【　　】

	会	事　内
		バレエ　「ようこそ　なるバレエの世　に　」
	まどかぴあ	台　・　「　回ジュニアときめき　化　」
	史博　センター	人　劇　・ワークショップ「　回ちくしのども　化・　の　典」
	働く　人の　「しーず・うみ」	「　ようこそ　へ　ふれ　クラシックコンサート」
久	合　化センター	「九　コンサート」
	化会	劇　「ながぐつをはいた　」
	センター	劇　「劇団トマト　劇会」

(4) ふくおか　　化　「　体　　」

【事　　】

　　動の中で、児　及び　に　々な伝　化や　　化を体　させることを　して、かな人　と　な個　の　を図るために　した。

【　　】

　　化団体が企　した　体　プログラムを事　　し、そのメニューを　・中　に　し、　を募る。　に　しては、コーディネート　務を　　団体　に　する。

【　　】

　　、北九　、　、　、久　、　倉　、　前　、　、　、

3　福岡県教育文化奨学財団の振興事業

(1)　台　　動体　事

【事　　】

・中　に　の　台において　の　い　の　の　を　して、　和のとれた　の　と　かな　の　を図るために　した。

【事　内　】

・　回公

会　　アクロス　　シンフォニーホール

内　　九　交　　団による

【事　参加　　】

内の　　、中　　の児　・　及び　員

【　　】

、　　、　　、古　　、　像　、　　、　　、

、　　、　　、久　　、　　、　　、　　、みやこ　　、上

、　　、　　、

(2) へき　　事

【事　　】

化に　する　会の　ないへき　の　を　に　事　を　い、　化の　に　与した。

【　　】

内へき　「　公　員のへき　に　する　例」による一　以上のへき　が　する　をいう。 及びそれに　ずる

【　　】

勝　　アンサンブル

中

中

上　　原　　劇「ながぐつをはいた　」

4　その他の事業

(1)　　・　化　　の主な　動

○　　回　　合　化　の　催

の　に、　　区を中　に　催した。

○　　回全　　合　化　　会　への参加

の　に、　　で　催され、　　に参加した。

○　　交　事　への参加

の　、アメリカ合　　ハワイ　において、ルーズベルト　　と交　し、　　名の　　が参加した。

(2)　　中　　化　　の主な　動

○　　回　　中　　合　化　　会　の　催

に、　　・　　化センターにおいて　催した。

○　　回全　中　　合　化　への参加

の　に、　京　・　　オリンピック　　合センターで　催され、久　　中　　がカラーガード　　で参加した。

第 3 節　県立美術館の事業

1　県立美術館

(1)　　協　会　員

19　　の　員会は　のとおりである。

名	名
※　吉　　喜 今　　久 古 久 吉 味　　則 光 古	九　　九 会　員(　　任　員会　員) 協会　事 久　　久 南　　化 主　　員 九　　博　　博 アートサポートふくおか代 前　　員会　　員

※会

(2)

　　の　　は　　る　　から「　り、使う　　」への　　であり、　やかな「　　と　ぶ　　」を　向していることである。そこは、　　と　　化との出会いを促す、　しみやすい　囲　を　った　かれた　　動センターであり、　い　　に　つ　　の創作　の　であり、　　センターである。このような　　に　ち　　19　　は　の　動を　った。

(3)　　主催

ア　アートに出あう　VOL. 9　　で　いても　　で　いても　　喜　二

　どもからおとなまで　　い　代の　々に、アートや　　を　　に　じていただくためのプログラム「アートにであう」の　　回　として　催。　喜　二　　(1897-1965)は

口（・　　）に　まれ、　　（・　　）を卒　、京　　（・京　　）　　で　び、　や光　会　で　　した。その一　で、　喜　は　　中に　　も　び、その　中　を　　しては　　の　　を体　し、　半　には　　による個　を何　も　催している。このように　　、　　を　　に　き、「　一　」とも　された　喜　二　　の　　を、　ではほぼ 30　ぶりの　　な個　として　介した。　　、　　、北九　　、　　、　　、　　の　　品から、　　と　　66　を　　した。

人　みともいわれるが、一　で　を　く　しさにあふれている　喜　の　　を、　どもたちにも　しんでもらえるよう、　　ごとに 8 つのコーナーに分け、わかりやすい　　パネルやクイズパネルを　　し、　　と　　、2 つの　　を　　しながら　　できるよう会　を　　した。また、 アートにであう シリーズに　かせない、会　スタッフ ハンズさん が、例　どおり　やかな　　で　　を　内した。

　　を主たる　　に　　していたが、　　を　　される　　、　　も予　以上に　　された。また、　　による入　　も　230 人を　えた。

その他、　　に　　を　く創作ワーク

ちのおもしろさ、そして、これらのハーモニーから　まれる　かなイメージ　。　　オブジェのこうした　力は、　　を問わず、会　を　れた　くの人の　をストレートにとらえ、きな反　を呼んだ。さらに、モノと　剣に向き合い、モノと　分の　係を　つめ　し　けることで　　を　めてきた作　の　　勢を　かび上がらせ、オブジェと前　する　代の作品　アサンブラージュや　　、そして 1970　代のアートシーンにも　たな　　をつなぐことができた。

会　中は、作　の　別　　会、　　員のギャラリートークに加え、九　　の　　による　　サポートプログラムやワークショップを各　　うなど、　　の　力に　　に　れる　会を　く　供し、こちらも　　だった。

・会　　19　11　3　　20　1　14　　・

・入　　3,746 人

ウ　　品　回　「　動　　ジュツとあくしゅ　　」

　　では、　7　　に　　10 周　を　　して「　品　回　　動　　」を　　と　　の 2 会　ではじめて　催した。その　　催し 今　は　　が会　となった。

動　　の　　は名品　介以　にも、　　に　れる　しさを　　な　　で　　に　じてもらえる　があげられる。そこで　　では「　どもたちのための　動　　」というサブテーマを　げ、　　の　どもたちが　　や友　と一　に　しい　　体　をすることで、　　や博　　などの　化　　を　　に利　することにつながるような、「ファースト・ステップとしての　　会」を　　した。

どものころに　　や　　は　しいと体　すること、そして　分の力で　ることの切さとその　　を　ること、この二つを伝える　　の　として、　　の　割はますます　　を　しているといえる。また　　では、　　にいっそう　しんでもらうためのイベントやワークショップをさまざまに　催し、　分の　で　て、　え、　すことができるイマジネーション　かな　どもたちの　　に　与することができた。　動　　での　は　　において　く共　を呼び、その　も　　における　　動を　　化させている。

・会　　19　9　29　（　）　　19　10　28

・入　　3,376 人

エ　　63回　　会

・　・　刻・　・　・写　・グラフィックデザインの7　について　内から公募し、　を　て入　・入　した作品を　した。

・会　1　9　4　(　)　9　9　(　)

2　9　11　(　)　9　17　(　　)

3　9　19　(　)　9　24　(　休)　　・　刻・グラフィックデザイン

4　9　26　(　)　9　30　(　)　　・写

・入　　10,869人　　5,425人　回

・出 品　　4,004

オ　「　なるアール・ヌーヴォー、アール・デコの世　　ガレ・ドーム・ラリック　」

・共　催　　、

・会　　19　4　27　(　)　　19　6　3　(　)

・入　　18,655人

カ　「モーリス・ユトリロ　モンマルトルの　」

・共　催　　、

・会　　19　10　26　(　)　　19　12　2　(　)

・入　　25,293人

第 4 節 文化財保護

1　文化財保護審議会

　　における　化　の保　及び　　に　する　　事　について　　し、及びこれらの事に　して　　員会に　　する　　として、化　保　　及び　　化　保　　会　例に　づき、　　化　保　　会　以下「保　　」という。を　　している。

　　、保　　は　　名の　員及び　　名の　　員で　　されている。

なお、　　員は、　　化　保　　会　則により「史　　会」、「名勝・　　会」、「　　化　　会」、「　　化　及び　俗　化　　会」の　　会のいずれかに　することとされている。

　　化　保　　例により、　　員会が　化　の　　をするときは、あらかじめ保　　に　問することとされている。　　は、　　会　回、　　会　回を　催した。

2　文化財の指定

　　の　化　の　　は　のとおりである。

［登録文化財］

別	名		告	備
化			19　5　29	
化			19　5　29	
化	及び		19　5　29	
化 （　　）	サッポロビール九 事務	北九	19　8　13	
化	サッポロビール九	北九	19　8　13	
化	サッポロビール九 合	北九	19　8　13	

別	名		告	備
化	サッポロビール九倉	北九	19 8 13	
化	免	免	19 8 13	
化	三井 伊		19 10 22	
化	三井 伊一		19 10 22	
化	三井 伊二		19 10 22	
化	マイヅルみそ 兼主		19 12 19	
化	マイヅルみそ原		19 12 19	
化	住 主		19 12 19	
化	上 住 千俗 の 主		19 12 19	
化	上 住 千俗 の 井		19 12 19	

［県指定文化財］

別	名			備
化	内 住	上	20 3 31	
化古	四 前		20 3 31	
化古	ヶ 出品	古	20 3 31	
俗 化	係		20 3 31	

別	名			備
史	供 さん　修	みやま	20　3　31	
	味　井　のクロガネモチ	久	20　3　31	

指定文化財種目別件数一覧（　20　3　31　）

		化			化	化	合
			化				
化			37	37	48	105	190
			15	15	21	43	79
	刻		49	49	59	132	240
	品	6	36	42	52	45	139
	・典	1	14	15	1	26	42
	古	1	7	8	22	50	80
	史				4	23	27
	古	6	32	38	99	166	303
		14	190	204	306	590	1,100
化			2	2	7	9	18
俗化	俗　化		1	1	82	153	236
	俗　化		8	8	69	111	188
			9	9	151	264	424

	史	5	76	81	69	199	349
	名　　勝		5	5	3	9	17
		2	25	27	119	140	286
		7	106	113	191	348	652
合		21	307	328	655	1,211	2,194

伝		3	3			3

化		57	57			57

		1	1			1

(1)　　…　別史　、　別　　を含む。

(2)　　化　…　　化　、　　俗　化　、　　俗　化　、史　、名　勝、　　を含む。

3　文化財の管理

化　の　　又は　　及び　　団体に　して、　　を　った。

4　大宰府関連史跡の環境整備事業等

史　の保　・　を図るため、　の　を　まえて、　　史　において、　の保　修　及び　のため　備事　を　に　している。　　は、　の　中　による　の　事　北　、主　原　区　及び　備事　区ほか　を　った。

5　文化財愛護思想の普及

(1)　化　　会

①　　・北九　　区

○　　・会　　吉　合同

○　テーマ　「いのりの　　における　信仰　」

○　　員会　　信

久　　員会　　上

②　　区

○　　・会　　エールぴあ久

○　テーマ　「　　から　る古　　代の　　」

○　　久　　丸

古　協会員　　勲

③　京　　区

○　　・会　　みやこ　　史　俗博

○　テーマ　「　代　　を　む・まもる・伝える　京　　区を事例として　」

○　　みやこ　　史　俗博

史　　会　　中

(2)　　化　　員　修会

○　　・会　　吉　合同

○　　「　　と　　」

主任

○　　告　　「　　の　化　　」

員会　　伴

○　　「　化　保　　の動向について」

務　　化　保　　参事　佐兼　　係　　和利

〃　　参事　　伊　俊

(3)　　化　　デー

回　化　　デー(　　)を中　に　　と　　で

・　　化　の　　や　　備　　を　　した。

(4)　九　　区　俗　　会

九　　区に伝　されている　俗　　のうち価値の　いものを一　公　し､その　　を　し

て　俗　　の　　と　　を　め、　　俗　化　としての保　・伝　を図るとともに、併せ

て上　　の　　を作　することを　　として　和　　から、九　　の　ち回りで
催されている。
　　は、アクロス　　において　催され、　　からは
の　　保　会、　　の　　の　　り保　会が出　した。

(5)　　化　保
　　回　　化　保　　の
を中　に　及び　　と　　で　化　　の　及・啓　とその　　を
るための事　を　　した。うち、　は、　の事　を　　した。
○　　・ウォーク　…　　・
○　　古　　代バスツアー…　　、　　、
○　シンポジュウム「倭人伝の　の交　」　　前原
○　　の　を　じて「　　台　ワークショップ」　　倉
(6)　　化　保　　員
ア
・　　化　の　回　　及び　　化　の　　並びに　　住　に　する　化
の　及を図るため、　　出　　の　　区　を単位として　　名の　員を　　し、
助事　として　　した。
イ　　化　保　　員会
○　　・会　　吉　合同
○　　告　　「世　　に向けた　動について」
務　　化　保　　参事　伊　俊
○　　「　代化　　保　　の取　　を事例として　」
員会　化スポーツ　　井　哉

6　埋蔵文化財の発掘調査

各　　事　によりやむを　ず　　を受けるものを主として下　のとおり　　を　　し、
件　は　　件である。
ア　　の
・単　事　　件
・受　事　　件

・　　助事　　件

イ　　の

・単　事　　件

・受　事　　件

・　　助事　　件

7　銃砲刀剣類の登録

刀剣　の　　の　　の処　件　は、　のとおりである。

①　　件　　件

②　　再交付件　　件

③　　件　　件

④　　件

⑤　作　　件　　件

8　文化財保護に対する助成

(1)　　助事

　　には、　のような　助事　　件が　われた。

　　保　修　　件　　件は

　　件

史　　件

史　・　　保　修　　件　　件は

　　再　　件

化　　保　　事　　件

　　件

　　化　保　　備事　　件

　　伝　　保　　区・保　修　　件　　区

10　　伝　　保　　区・　　件

11　伝　　保　　件

12　　化　　化　　件

13　　化　　件

14　　化　　化　保　団体　助　　件

15　　化　公　　件

16　俗　化　伝　　事　　件
17　史　　上げ　　上げ　　件
18　史　　上げ　先　取　償　　件

(2)　　化　　事
　　は、　　備保　　件、　　4件の　　件について　った。

(3)　単　助事
　　は、　　化　、　　俗　化　　の保　修　や　　の保　　、
　備保　　など　　件について　った。
　このうち、　　の台　　号及び　　の　による　の　事　として
　化　　の修　が　件あった。

9　九州歴史資料館

(1)
　　は、　に　き　き　　史　の　　及び各　　の　・　を　うと
ともに、併せてその　を一　に　・公　し、　化　に　する　を　め、　化
の　と　及に努めた。
　事　の一　として「九　　史　　」「　　九　　史　　」「
　史　　告　Ⅳ　　16 17　」「　　史　　告　Ⅴ　　18 19　」
「九　だより　・　」を刊　した。　　の　　の入　　は　　人で
ある。

(2) 協　会・　員会
ア　九　　史　　協　会
　　に　　会　ほか　　名の　員及び各分　　が出　して　催した。
　協　では、　　から①　　事　　告及び入　　告、②　　予
　について　告し、③　　事　　、④　　事　　について　問
　した。
イ　　史　　員会
　　は、　　・　　の両　に　催した。

は、　　・　　の　　史　係　　事　、　　事　、
　　史　　210　　の　告を　い、　　区
事　　と　　の　　を　った。　　は　告及び協　とし、①
　史　　・　告　刊　　、②　　・　　備・　　事　、③　九
史　　備　　について、　告・協　を　った。その　　、　　吐　・
の　　、　　の　告　作　、　　周　　の今　の　　・　告　作　、
史　　40周　　事　の　催　に　して　　・助　を　た。

(3)　　史　の

　　は　　史　　か　　の　　に　たる。
別史　　においては　吐　口　　・　　と　内　の　　、また
周　　前　　区においては　　区・五反　　区の　　の　　の　　を
した。

①　　吐　　・

今回の　　では、　　の吐　　から　　に　　する　　や　を　出しており、この　　に
　が　　されていたことがほぼ判　した。また吐　　の北側で　出した　の　　から、
　は　くとも　　世　　には　　していなかったことも判　した。
これまで　　については、　和　　に　われた　　側の　　により、　　の
らな単　な　　の　であると　えられていた。しかし、　　側の　　と今回
の　　により、　内に　　に並　する　　の　があることを　　し、　　側の　　は
に並　する　　の　で　　されていたことが判　した。

②　　内

内　　分の　　のため、　　内に　　に　交する　向に　　のトレンチを　　して
　した。今回の　　では、　くとも　　世　以　には　　によって、それ以前の　　が
されており、古代の　　に　わる　　を　　することはできなかった。

③　　史　　周　　区

　　の　　の　　と　　などと　　する　　の　　のため、
にトレンチを　　した。今回　出した　　の　　から、　　である　　区の南側
へも、古代の　　が　がる可　　があることが判　した。

④　　史　　周　　五反　　区

　　向の　　のトレンチを　　し　削を　ったが、古代の　　は　　しない、もしく

は　　していないことが判　した。

(4)　古

○　　健　収　　の

　　に　された、みやま　住の　史　であった　　健　が　　内を中　に　した　のうち、　器の　を　い、　は　　員会　の九　係　　化　　告　　『　の　　Ｉ』に　した。

○　　出　　の

　和　　に　　員会と別　　が　を　った　　の　告の　のうち、　が出　した古　代前　の　　の　を　った。

○　及び　　員会　　古　の写　　化

　カラー写　　の　及び　の　劣化　の　などのため、　×　カラーリバーサルフィルムによる写　　を　件　した。

○　内出　古　代　具の

　　化　　会の　　回　　会では、全　　で古　代の　具が　　され、　員が　内　化　　と分　して　内出　　具の　作　を　った。

(5)　史

古代から　代に　る　史　を　として　を　めている。　　としている　史は、仏像や　、　品などの　　品、それらに　する　　から、古　、また、や刻　をもつ出　　に及ぶ。　　としては、　　を中　としながら、九　　の全　を　に入れている。このような　を　して、わが　の　史の中で、そして　アジアの史の中で、九　　や　の　　がどのような　を　ち、どのような　割を　たしてきたのかを　らかにしていきたい。

ア　主　　の

　　の　史において中　な　割を　たしてきた　には前　した　史　が　中して　し、伝えられている。これらの　史　を　に　して、　を　体として　え、さらにはそれを　して　の　を　しようという　から　を　っている。

イ　　及び個人　　の

　　や各　　の　化　　との　で　られた　に　づく　も、　に　みんで　っている。

は、前　に　き　き、　　久　に　する、　　の　に
参加した。

については、北　九　に　する　作例に　して、　京　化　　の　の
に同　し、　と　を交　した。また、　　について、　　に　る作例の
と　　史　センター　　の　を　った。

らく　を　ってきた久　に　する仏像の　告　を刊　した。　告　は久
員会　で、　　代から　代に　る　　の仏像の　　を　している。

また、　像　　の　　像が　体修　される　びとなったので、その修　　の
に　いた。

ウ　化　の　　と保　動

九　史　　では、　での保　が困　ないしは危　であり、かつ　の　　を　れ
ても、　の信仰　化に　刻な　を与えることはないと判　される、　化　としての
を　った仏像や　像、仏　々について、受け入れを　っている。　　は、八
の個人　に古仏が　されているという　をもとに、　の　　に　き、中世に制作
が　ると　られる　　像をはじめとする、　の仏像を　した。

また、　で保　と　を　ってきたものの、　元での保　への　の　まりを受けて、
した仏像もある。　の　　の　　像はその一例である。このような
動　の保　センターの　にも例えうるようなかたちの、　化　の保　　としての　割
は、今　も　化してゆきたいと　えている。

エ　　史　出　　の

史　出　の　と　・刻　器について、保　と　　を　った。今
は、　世　　告　に　できなかった　　を　し、　告した。

オ　　の保　　に　する

の保　　のあり　について、　を取り　う　　が　合　に　えるための
とするために、　出　の　、仮保　、保　処　・修　、保　という　における問
について、　　余の　　史　出　　を　し、　史　と保　　を　とす
る　員が　されている　の　を　かして、両　の共同による　　を　った。

(6)

○　古　　係

古　　係の　　は、以下の　で　する。

「九　史　の　動」

が　する主　な　　動である「　　史　の　　と　備」・「

品及び　の　」・「　古　の保　修　」の各　動内　を　介している。

「　の　古　」

史　をはじめとする　内の　　出　　を中　に、　史　　器　世

に　する。　史　出　は、　保全のため　な　えを　っている。

「　古　　」

で　した　古　　係の　　を　介している。

○　　係

係の　　は、そのほとんどを借　品によっている。これらの借　品を、

と　、　などの　を勘　しながら、　を　っている。

○　　の　介　『モノから　ぶ　古　』

今回の　では、モノの　作　・　をテーマとした　を　い、　去の モノ がい

かにして　作されたかを　らかにし、その　や　について　も　えることで、　古

について　味を　ち、　ぶきっかけになることを　　とした。

○　　の　介　『　人が伝えたもの―　から　る　化　の　像―』

では、　半　南　から　した　制　　が、　化から　き　がれた　制

とともに受　・　し、　人　らの伝　にあわせて　・　していく　を

しつつ、この　が　や　ごとにどのような　や共　を　つのか　し、　化

の　像に　ることとした。

○

回　　『　別史　　39　　』

[　　]

が　・　に　した　の　と　が交わる　分、

「　　」の　の　である。

回　　『古代の　　みやこ　　の　　』

[　　]

務　化　保　が　　・　に　った　に

する　の　の　である。

回　　『 別史　　北　　区の　　』

[　　]

　　事 に伴い、　　に　　務　化 保　が

を った　　北　　区　　の　　の　である。今回

の　　の　である北　　区　では、 の　　受 具が出 したため、

その初公 と合わせて写 パネルを いて　　を 介した。

(7)　化 の保 処

　　に　した　　による 古　の保 処 は以下のとおりである。

このほか、　　人 化　　京 化　　の「　　保　　員フォローアップ 修」、　　「アーカイブズ・カレッジ　コース」に参加した。

ア　　の保 処

　　の保 処 は、　　などの事前　、　や の 去といったクリーニング、　処 、合　　含 による 化処 といった　で っている。今　は、

　　合　　の処 を った。

イ　　の取り上げ

　　北　　区　区　　において出 した、　　受 具の取り上げ作 を った。

(8) 九

　　は下 の　を　した。

回　　「　のはなし―　と　―」　　勲

回　　「 世　の　　の　」

回　　「　　会」　　一

回　　「　の　と 倉　」　　光

回　　「 から る　　代のはじまり」

回　　「　　の　　」　　佳

九　史　　介

　　周 の　に、九　史　　が　　に　　されることを く っていただくため、　　化　　センターを会 とし、　　員会と共同で 九　史

介　を　　に　き、　回　催した。

回　　「九　の　　器　化―　　の　　と人　―」　　原　之

回　　「九　　化の　　」　　一

回　　「九　の　　代―　　人のくらし―」　　人

回　　「九　の　　代―　　―　　と　　の　と　り　」

原　俊

回　　「九　の古　　代―前　　円　の出　から　井の乱まで―」

史

回　　「九　における古　　代　　」　　下原

回　　「　　の　代と九　」　　和利

回　　「九　の仏　　―　　周　　を中　に―」　　井

(9)　　動

から　　及　　の　員が　　一　に　　された。　　は、　　・　会　　との　を　　し、　　内の　中　　・　　区と北　　区の中　　・　　の　係　　への　　信を　った。

や公　　などの団体　　に　しては、　　及　　に　口を一　化し、オーダーメイドの　をすることで　　を　める　　をした。事　アンケートは　　および　善すべき　を　る　　で　　団体に　ったが、どの　　からも　い　価をいただいた。なお、アンケートには、　の利　や保　　への　　を促す　　を　り　んだ。

団体の利　にあたっては、　　きとなる「　　プリント」を作　した。一問一　タイプで、「　　品をしっかり　　して　えを　き出すもの」「　　パネルを　んで　えを　き出すもの」「　えとなる　　はなく　分で予　するもの」で問　を　　し、　　をじっくり　てもらえるものとした。中　　・　　・　　の　　を　　し、　　に利　してもらうことで反　を　かめるとともに、博　　や　　修参加　の　　を参　に内　を　　した。

団体の　　受け入れ　は　　で、　　を中　　が占めた。　　体　受け入れ　は中　であった。受け入れ　　は　　で、　　務・　　務など　史　博　　の　　に　れる内　を　供した。受け入れに伴う労力は　きいが、　　・　　から　　に　く　価された。

一　団体の受け入れ　は　団体で、　　と　　をセットで　った。

(10)　九　　史　　の　　備について

は、　事に係る　を　った。

ア　三　ハサコノ

イ　㎡　周回　含む

ウ　べ　㎡

コンクリート　一　、

、体　、保　、　別収　などを

伝　な　の　囲　を　つ

一　収　、

エ　事　億円　・一　収

オ　予

	2673.5		1148
	2092		985.5
	1906.5		910.5
	1735		856
	1726.5		804.5
	1542.5		722
	1455.5		721
	1436		662.5
	1416.5		644.5
	1408.5		643
	1300.5		630
	1297.5		621.5
	1247.5		620
	1148.5		605
	1139.5		595.5
	1113		584
	1106		580
	1093		571
	1074		570
	1071.5		546

水泳										

ハーンクフノ有効に向け

種　　別	氏　名	現　　職	所　　属
団体	藤田　弘明	福岡県体育協会副会長	財 福岡県体育協会
	松本　通憲	福岡県体育協会専務理事	財 福岡県体育協会
	野口　義弘	福岡県体育指導委員協議会会長	
	佐藤　靖典	法人県　　協会専務理事	
	小林　孝子	福岡県家庭婦人　　連盟副理事長	福岡県家庭婦人　　連盟
	砂川　邦子	福岡県　　連盟理事長	福岡県　　連盟
	日下部　基栄	元　　柔道代表	
県議会関係	井上　順吾	福岡県議会議員 文教委員会	県議会
	佐藤　正夫	福岡県議会議員　　議員連盟	県議会
市町村関係	土師　武	福岡県市町村教育委員会連絡協議会長	古賀市教育委員会
学校関係 公立	本田　和人	福岡県　等学校体育連盟会長	県立北筑　等学校
学校関係 公立	立野　俊六	福岡県中学校体育連盟会長	福岡市立城南中学校
学校関係 私立	増田　仰	福岡県私学協会校長部会長	折尾愛真中学校　等学校
学識経験者	中西　純司	福岡教育大学助教授	福岡教育大学
	早渕　仁美	福岡女子大学教授	福岡女子大学
	田口　正公	福岡大学教授	福岡大学
	田中　浩子	中村学園大学助教授	中村学園大学
地域　　関係	佐　木　美津代	福岡県　育成　　太宰府市	太宰府市体育指導委員
	井上　登喜男	財　　振興財団理事	財　　振興財団
行政機関関係	井原　絹江	福岡県生活労働部男女共同参画推進課長	県生活労働部男女共同参画推進課
合　　計　　名 男性　　名　女性　　名			

種別

小学校	教諭	コーディネーション運動 ※幼中高可	7月30日(月) ～ 7月31日(火)	順天堂大学 准教授 東根　明人	講義:「コーディネーション運動」の考え方、進め方 実技:「体育学習で生かせるコーディネーション運動」 他
		水泳 ※中高可	8月21日(火) ～ 8月22日(水)	新潟産業大学 教授 廣川　俊男	講義:水泳の特性、個に応じた指導と評価 他 実技:水中の感覚を身に付ける指導方法、技能の段階的指導法　他
中学校・高等学校	教諭	球技の学習指導	6月27日(水) ～ 6月28日(木)	東京学芸大学 准教授 松田　恵示	講義:学習意欲を高める教材の工夫、選択制授業の考え方と進め方　他 実技:「ネット型」「ゴール型」「ベースボール型」の球技指導　他
		体つくり運動 ※小可	10月11日(木) ～ 10月12日(金)	東海大学 教授 小澤　治夫	講義:発達段階に応じた「体つくり運動」の基礎 実技:体ほぐしの運動Ⅰ・Ⅱ、体力を高める運動Ⅰ・Ⅱ　他
	部活動指導員担当	部活動指導「バスケットボール」 ※小可	1月23日(水) ～ 1月24日(木)	東海大学 准教授 陸川　　章	講義:バスケットボールのコーチング理論 他 実技:コーチング実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
小学校・中学校・高等学校	教諭	体育の学習指導	10月3日(水)	早稲田大学 教授 友添　秀則	講義・演習:これからの学校体育が果たす役割、体育学習を改善する授業方法　他
	教諭養護及び教職員	保健の学習指導 ※2日目移動講座	11月8日(木) ～ 11月9日(金)	岐阜大学 教授 近藤　真庸	講義:これからの保健学習の進め方　他 授業:授業参観及び分析 参観:宗像市立日の里東小学校
	教職員	レクリエーション	8月2日(木) ～ 8月3日(金)	日本体育大学 教授 高田　良平	講義:レクリエーションの意義と活用　他 実技:いろいろな場面、教室・狭い場所でもできるマス・レクリエーションゲーム指導の実際

小学校・中学校・高等学校	健養康護教教育諭担・当栄教養諭教及諭び	食育	7月 31日(火) ～ 8月 1日(水)	筑波大学 副学長 谷川 彰英	講義・演習：学校における食育の重要性、望ましい考え方 他
	教職員	トレーニング指導者研修会Ⅱ （スタビライゼーショントレーニング）	10月26日(金)	中央学院大学 教授 小林 敬和	実技：「スタビリティートレーニング」の実際 ※県立スポーツ科学情報センターが主催する科学的なトレーニング法の指導者養成研修会の1日目を「専門研修講座」として実施

第１節　現状と課題

第２節　学校教育における人権教育

１　教職員研修事業（学校教育関係）

福岡教育事務所					

北九州教育事務所					

北九州教育事務所					
北筑後教育事務所					

北筑後教育事務所					

南筑後教育事務所					

南筑後教育事務所					
筑豊教育事務所					

		期日			
筑豊教育事務所					
京築教育事務所					

		期日			
京築教育事務所					

第３節　社会教育における人権教育

１　県費補助事業、国庫補助事業等

過去５年間の県費補助事業及び国庫補助事業

北九州教育事務所					

北筑後教育事務所					

南筑後教育事務所					

南筑後教育事務所					

筑豊教育事務所					

京築教育事務所					

3　その他の事業

名称	所属名	規格ページ数	発行時期 （回数）	発行部数
教育福岡	総　務　課	A４　２８ 頁	年６回	各 3,300 部
教育便覧	総　務　課	A４　９８ 頁	19 年８月	3,600 部
福岡県の教育	総　務　課	A4 リーフレット	20 年３月	1,500 部
福岡県文化財調査報告書第 215 集「五ヶ山・小川内」	文化財保護課	A4 本文 720 頁	20 年３月	1,000 部
福岡県文化財調査報告書第 216 集「彼岸原遺跡」	文化財保護課	A4 本文 60 頁 図 版 １６ 頁	20 年３月	500 部
福岡県文化財調査報告書第 217 集「竹重遺跡」	文化財保護課	A4 本文 16 頁 図 版 ８ 頁	20 年３月	500 部
福岡県文化財調査報告書第 218 集「西新町遺跡」	文化財保護課	A4 本文 145 頁 図 版 ３３ 頁	20 年３月	500 部
福岡県文化財調査報告書第 219 集「原遺跡 18 次」	文化財保護課	A4 本文 72 頁 図 版 ２８ 頁	20 年３月	500 部
福岡県文化財調査報告書第 220 集「赤坂古墳群Ⅲ」	文化財保護課	A4 本文 24 頁 図 版 １０ 頁	20 年３月	500 部
九州新幹線関係埋蔵文化財調査報告第８集「小川柳ノ内遺跡Ⅱ」	文化財保護課	A4 本文 196 頁 図 版 ９３ 頁	20 年３月	1,000 部
九州新幹線関係埋蔵文化財調査報告第９集「藤の尾垣添遺跡Ⅰ」	文化財保護課	A4 本文 148 頁 図 版 ４４ 頁	20 年３月	1,000 部
九州新幹線関係埋蔵文化財調査報告第 10 集「松田掛畑遺跡・岩本下内遺跡」	文化財保護課	A4 本文 76 頁 図 版 ３０ 頁	20 年３月	1,000 部
九州新幹線関係埋蔵文化財調査報告第 11 集「観音山古墳群中原Ⅲ群・観音山古墳群瀬戸Ⅳ群・内河遺跡群１次」	文化財保護課	A4 本文 104 頁 図 版 ３２ 頁	20 年３月	1,000 部
有明海沿岸道路大川バイパス関係埋蔵文化財調査報告第４集「坂井長永遺跡、西浦池古塚・古溝・将監坊・下里遺跡」	文化財保護課	A4 本文 80 頁 図 版 ３０ 頁	20 年３月	1,000 部

名称	所属名	規格ページ数	発行時期（回数）	発行部数
一般国道２１０号線浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告第25集「玉田遺跡、船越高原 A 遺跡、西隅上中川原遺跡」	文化財保護課	A4 本文 97 頁 図 版 ３２ 頁	20年3月	1,000部
福岡県埋蔵文化財発掘調査年報-18年度-	文化財保護課	A4 本文 208 頁	20年3月	1,000部
特別支援教育推進のための体制整備	義務教育課	A4 71 頁	20年3月	300部
福岡県の特別支援教育	義務教育課	A4 8 頁	20年3月	4,500部
スクールソーシャルワーカーの活用についてＱ＆Ａ	義務教育課	A4 17 頁	20年3月	250部
学校における豊かな体験活動のすすめＶ	義務教育課	A4 33 頁	20年3月	1,200部
幼稚園新規採用教員研修の手引	義務教育課	A4 85 頁	20年3月	150部
若い教師のための教育実践の手引	義務教育課	A4 166 頁	20年3月	600部
基本研修計画書	義務教育課	A4 51 頁	20年3月	1,000部
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実践報告	スポーツ健康課	A4 10 頁	19年9月	3,000部
平成19年度児童生徒体力・運動能力調査報告書	スポーツ健康課	A4 61 頁	20年3月	1,750部
福岡県選手強化事業概要及び競技力	スポーツ健康課（選手強化推進実行委員会）	A4 154 頁	20年3月	600部
スポーツフェスタ・ふくおか報告書	スポーツ健康課（スポーツフェスタ・ふくおか実行委員会）	A4 100 頁	20年3月	500部
平成19年度要覧	体育研究所	A4 13 頁	19年10月	300部
体育研究所だより69号	体育研究所	A4 4 頁	19年10月	2,000部
要覧	ｽﾎﾟｰﾂ科学情報ｾﾝﾀｰ	A4 49 頁	19年6月	1,500部
アクシオンレポート	ｽﾎﾟｰﾂ科学情報ｾﾝﾀｰ	A4 98 頁	19年4月	850部
福岡スポーツ情報誌「カリエンテ」	ｽﾎﾟｰﾂ科学情報ｾﾝﾀｰ	A4 12 頁	年1回	4,500部
平成 18･19 年度スポーツ指導者の活用に関する地域実践研究事業報告書	ｽﾎﾟｰﾂ科学情報ｾﾝﾀｰ	A4 102 頁	20年2月	1,500部

名称	所属名	規格ページ数	発行時期 (回数)	発行部数
福岡県立図書館要覧	県 立 図 書 館	A4　28 頁	19 年 8 月	500 部
福岡県立図書館報(62 号)	県 立 図 書 館	A4　8 頁	19 年 8 月	1,500 部
福岡県立図書館報(63 号)	県 立 図 書 館	A4　8 頁	20 年 3 月	1,500 部
九州歴史資料館年報平成 18 年度	九州歴史資料館	A4　44 頁	19 年 7 月	1,500 部
九歴だより 25 号	九州歴史資料館	A4　4 頁	19 年 4 月	5,000 部
九歴だより 26 号	九州歴史資料館	A4　4 頁	19 年 10 月	5,000 部
大宰府史跡発掘調査報告書Ⅳ	九州歴史資料館	A4　60 頁	19 年 10 月	500 部
大宰府史跡発掘調査報告書Ⅴ	九州歴史資料館	A4　130 頁	20 年 3 月	500 部
九州歴史資料館研究論集 33	九州歴史資料館	B5　130 頁	20 年 3 月	1,000 部